

「次期相模原市総合計画推進プログラム」策定に向けた 意見募集の実施結果について

1 概要

本市は、「未来へつなぐ さがみはらプラン 相模原市総合計画」基本計画を戦略的かつ効率的に推進するため、「相模原市総合計画推進プログラム（以下「推進プログラム」という。）」を令和6年3月に策定しました。

推進プログラムは、社会経済情勢の変化等に対応するため、毎年度更新することとしていますが、更新に当たっての市民意見の反映のため、パブリックコメントに準じた意見募集を行いました。その結果、52人の方からご意見をいただきましたので、市の対応状況や考え方について、次のとおり公表します。

※ご意見の対象取組ごとに細分化して市の考え方を示しているため、実際の意見数よりも多くの件数（121件）となっています。

2 意見募集の概要

- ・ 募集期間 令和6年4月15日（月）～令和6年5月31日（金）
- ・ 募集方法 直接持参、郵送、ファクス、電子メール、Logo フォーム
- ・ 周知方法 市ホームページ、市SNS、広報さがみはら、窓口への配架 など

※ 資料の配架場所

政策課、各行政資料コーナー、各まちづくりセンター（城山、橋本、本庁6地区まちづくりセンター、大野南を除く）、各出張所、各公民館（沢井公民館を除く）、各図書館、公文書館

3 結果

（1）意見の提出方法

意見数		52人
内 訳	直接持参	1人
	郵送	人
	ファクス	人
	電子メール	2人
	Logo フォーム	49人

(2) 意見に対する本市の考え方の区分

ア：推進プログラム（令和7年度～9年度）に意見を反映したもの

イ：今後の参考とするもの

ウ：その他（今回の意見募集の趣旨・範囲と異なる意見など）

(3) 件数と本市の考え方の区分

項目		件数	市の考え方の区分		
			ア	イ	ウ
①	推進プログラム全般に関すること	2	0	2	0
②	重点テーマ「少子化対策」に関すること	20	12	8	0
③	重点テーマ「雇用促進対策」に関すること	5	1	2	2
④	重点テーマ「中山間地域対策」に関すること	11	2	9	0
⑤	目指すまちの姿Ⅰ「夢と希望を持って成長できるまち」 に関すること	20	6	12	2
⑥	目指すまちの姿Ⅱ「笑顔で健やかに暮らせるまち」 に関すること	11	2	9	0
⑦	目指すまちの姿Ⅲ「安全で安心な暮らし暮らしやすいまち」 に関すること	8	1	7	0
⑧	目指すまちの姿Ⅳ「活力が交流と新たな価値や魅力を創造するまち」 に関すること	32	5	26	1
⑨	目指すまちの姿Ⅴ「人と自然が共生するまち」 に関すること	4	1	2	1
⑩	目指すまちの姿Ⅵ「多様な主体との連携・協働により持続的に発展するまち」 に関すること	8	4	4	0
合 計		121	34	81	6

(4) 意見の内容及びご意見に対する本市の考え方

※区分が「ア」としたものは、推進プログラム（令和7年度～9年度）において意見を反映させた事業を記載しています（カッコ内は推進プログラム掲載ページ）。

推進プログラム全般についてのご意見

通番	意見の趣旨	「該当する取組」もしくは「市の考え方」	区分
1	・ 目標の定まっていない項目が多く、前年度までの評価として、終結の一端が見えない。 ・ 各項目の次の目標（テーマ）が『『あるべき姿』がどこに向かっていくのか？』が、はっきりとしない（不明瞭） →各ステークホルダーをクリアしていく方法として、プロジェクトマネジメント規格「JMAQA JIS Q9001（最新版）」を採用することを提案する。 【内容】 項目終結の一旦がみえないものは、次の目標項目に行こうしてもその要求事項を完了することができない状態に陥る可能性が高いと考える。（コスト問題／人員不足 等） この「推進プログラム」を1つの大きなプロジェクトとして大枠のフレーム（構成）としてのプロジェクトマネジメントを実施しながら各ステークホルダーをクリア（消化）していくもの。具体的には、各項目ごとに「進捗管理運用フロー」（作業流れ図）を作成し、インプット・ツール／技法・アウトプットを明確にした計画によって、政策を進めていく方法です。（PDCA サイクル） 採用するツールは、要求事項に汎用性があり形態・規模などあらゆる組織に適応できる規格「JMAQA JIS Q9001（最新版）及び ISO14001（環境対応）」をベースとします。また、苦情対応 マネジメントシステムとしては、「ISO10002（組織における苦情対応）」「ISO26000（社会的責任に関する対応）」「ISO／IEC ガイド 71（高齢者及び障がい者に関する対応）」など、項目の要求事項に対して組織横断的に対応していくものです。	相模原市総合計画推進プログラムについては、総合計画基本計画の数値目標による進行管理を踏まえ、毎年度見直ししながら、次年度における予算編成や組織・定数編成を行い、総合計画に定める将来像の実現に向け、施策の推進を図っています。いただいた意見も参考にしながら、効果的・効率的な計画の推進を図っていきます。	イ

	市政・政策面からみて期待される効果：コスト／要求事項／具現化されたあるべき姿 １．EV（Earned Value）アーンド・バリューマネジメントによる効果 項目に係わるコストの予測と実績が明確になり、計画当初の予算枠からの差分が把握しやすくなる。 ２．統合・変更管理による効果 各要求事項の変更に対応し、変化するものへの是正処置、予防処置をとりながら、ベースとなっているマネジメント（計画）の有効性を継続的に確認・改善していけるようになります。 （具現化されたあるべき姿） この変更管理マネジメントの方法と変更要求の実行方法を文書化した手順書（運用フロー）があれば、変更／問題が起こったときに過去の原因と結果の分析を生かし、次のパフォーマンス（工程）でコストの予測と実績の差分が小さくなり、結果的に完了時予測コストが見積もりやすくなります。 まとめ：提案したマネジメントシステムが「推進力」となり、他の計画書「相模原市一般廃棄物処理基本計画」、「相模原市消費生活基本計画」および、それ一つで単独の基本計画を持つ「相模原市地域防災基本計画」へ展開され総合的・横断的な計画と『あるべき姿』の政策を実行して欲しいと考えます。		
2	全体的に総花的なので選択と集中で行うべきだと考えます。 冷たい話ですが生産性のない高齢者や施設に予算を振る余裕は相模原市にありません。 何をするかではなく、何をしないか。を考えた方が良くと思います。	相模原市総合計画推進プログラムについては、目指す将来像の実現に向けて特に必要となるものを政策的基幹事業として精選しています。政策的基幹事業は毎年度の推進プログラムの策定に合わせ、事業の進捗を管理しながら見直し等を図っています。 いただいた意見も参考にしながら、効果的・効率的な計画の推進を図っていきます。	イ

重点テーマ「少子化対策」についてのご意見

通番	意見の趣旨	「該当する取組」もしくは「市の考え方」	区分
3	就労のことを考えると、安心して子供を産み育てられるのか心配になります。学童が3年生までのため、その後はどうになってしまうのか不安なため、もう少し上の学年まで学童の利用ができるようになってほしい。	・ 中山間地域対策事業 放課後児童健全育成事業（P 1 6）	ア
4	共働きでも安心して子育てできるようにしてほしい。	・ 子ども若者健全育成支援事業（P 2 7） ・ 待機児童対策に関する事業（P 2 6）	ア
5	学童施設を増やしてほしい。	・ 子ども若者健全育成支援事業（P 2 7） ・ 待機児童対策に関する事業（P 2 6）	ア
6	中学校も完全給食にしてほしい。	・ 学校給食推進事業（P 2 9）	ア
7	子育て関連施設（子どもセンターのような施設）をもっと使いやすくしてほしい。	子どもたちが安全・安心に過ごせる居場所づくりについて、引き続き、検討してまいります。	イ
8	電子的な連絡網システムを導入してほしい。	学校と保護者との電子的な連絡機能をもつ「まなびポケット」を令和6年度に全校に導入しました。当該機能について、現時点では、各校において実態に応じて利用有無を判断することとしています。	イ
9	子どもの施設の無料化は取り組んで頂けてとてもありがたい一方で、現状のやり方では市外の方の小学生も無料で使用できてしまうのではと感じます。身分証の掲示等しているところもあるようですが、徹底もしくは対策をして頂きたいと思います。	無料となる方の本人確認につきましては、券売機等の区分で確認することとしており、必要に応じて、口頭で年齢や学校名等を確認することとしています。 今回いただいたご意見につきましては、無料化対象施設や庁内関係部署において共有させていただくとともに、今後も多くの子育て世帯の皆様が安心して施設をご利用いただけるよう努めてまいります。	イ
10	小学校給食の無償化、上2人が小学生以上になっても3人目以降の保育料無償化は是非取	・ 子育て支援事業（P 2 5）	ア

	り組んでももらいたいことです。 というのも東京都では既に導入済みだからです。財源の違いはあるのかもしれませんが、神奈川県、相模原市なら実現できるのではないのでしょうか？前年度の予算も黒字と聞いています。今こそ、こうした導入をし子育てのしやすい相模原市を作られると良いのではと感じます。厚木市も子育てに向けて取り組まれている結果、転入が多くなっているようなので。	※保育料減免について、市独自の軽減措置を実施しておりますが、さらなる拡大については、財政負担が大きく、自治体単位では実現が困難な状況です。 このため、国に対し、少子化対策として減免制度を統一的に拡大するよう、要望しています。	
1 1	若者の誘致のためには、子育て世代以外の若者などにも都心へのアクセスの良さなどを売りにした PR が必要と考える。	・シティプロモーション推進事業（P 9 0）	ア
1 2	なかなか子供が授かれず、不妊治療のクリニックへ通っています。 保険適用になったとはいえ、多額の出費が発生することには変わりなく、先進医療や体外受精、顕微授精への支援も検討いただきたいです。 子供を授かりたいと思いクリニックへ足を運ばれる方は沢山いらっしゃいます。本当に欲しいと望んでいる方への支援を希望します。 海老名市、東京都を参考にしつつ、大都市ならではの対応をご検討いただきたいです。 授かりたいと思った方が、難なく授かれる環境を整えていただくことが少子化対策への貢献ではないでしょうか。	保険適用により、不妊治療を受けやすい環境が整いつつある一方で、保険が適用されない治療を組み合わせ、治療費が高額となる場合があることは承知をしております。子育て支援に関する施策につきましては、様々な手段が考えられるところですが、限りある財源の中で、必要なニーズや経費等を勘案し、まずは、学生などの世代に対するプレコンセプションケアの普及、啓発が必要であると考え、取り組みを推進しているところです。 いただきましたご意見は、今後の施策を検討する上での参考とさせていただきます。	イ
1 3	宇宙関連など特色のあることとの連携はよく、さらに発展させてほしい。	・シビックプライド向上事業（P 9 0）	ア
1 4	近隣自治体の町田や八王子と比較すると、東京都全体の施策の強さを感じ相対的に相模原は弱いと思う。特に児童クラブへの投資や職員増強が項目にも上がっていないので、拡充を計画に入れてほしい。	・子ども若者健全育成支援事業（P 2 7）	ア
1 5	子育て支援(補助金、育児に必要な用品の支給など)の施策が必要と考える。	・少子化対策事業 子どもの居場所づくりパッケージ（P 1 0） 子育て世帯の負担軽減パッケージ（P 1 0）	ア

		・子育て支援事業（P25）	
16	自然体験教育の拡充： 自然体験教育プログラムを市の施策に積極的に取り入れ、子どもたちが自然（緑区）の中で学ぶ機会を増やすことで、心身の健康を促進し、家族が地域に定住しやすい環境を作り出すことを提案します。 地域おこし活動の市全体への展開： 藤野地区で成功している地域おこしの取り組み（CSA 有機農家支援、地域通貨よろづ屋の導入など）を市全体に展開することで、他地区でも地域密着型の経済活動を活性化させ、子育て世帯の支援と地域コミュニティの強化を図ります。 文化と自然の融合した体験プログラムの推進： 自然とアートを組み合わせたイベントやワークショップを市のイベントカレンダーに組み込み、家族連れや若者が参加しやすいプログラムを提案します。これにより、地域の魅力を高め、多様な世代が交流する機会を創出します。	緑区の豊かな自然をはじめ、歴史、文化などの地域資源を活用し、地域の魅力や愛着をさらに高めるような取組や情報発信の在り方について引き続き検討してまいります。いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。	イ
17	少子化対策実現のためにも、明石市と全く同じ子育て支援が来月から必要だと考える。 内容は、 https://www.city.akashi.lg.jp/shise/koho/citysales/kosodate/index.html こちらのページに載っている全てを同じにして欲しい	・少子化対策事業 子どもの居場所づくりパッケージ（P10） 子育て世帯の負担軽減パッケージ（P10） ・子育て支援事業（P25） https://www.city.akashi.lg.jp/shise/koho/citysales/taneakashi-child.html 上記ページを前提としまして、本市は「子育てするなら相模原」と選ばれるまちになるため、これまで妊婦健康診査の助成、こども医療費助成の対象の拡大、理由を問わず一時的に子どもを預かる休日一時保育の新設、子どもの施設使用料等の無料化などを実施してまいりました。 また、令和7年度は、市立小学校	ア

		及び義務教育学校の1年生の学校給食費を無償化、低所得者世帯の中学校3年生及び義務教育学校9年生の学習塾代等を助成を行うなど、妊娠や子育てに係る施策の充実に取り組んでまいります。	
18	少子化対策を考えるのであれば、生まれる前から親となる人たちへの社会環境から相模原市を変えていく必要があると考えます。 どんなに素晴らしい少子化対策を打ち出しても、今の社会が子どもを授かること自体にネガティブなニュースになる時代です。 職場環境が良ければ、子どものために休暇を取りやすいとか、現実的な視点で出産を考えられると思いますが、このような社会の中で出産を考えられるのかどうか。 子どもが生まれれば、保育所も必要だが、病気の時にすぐに帰れる環境や職場と保育所の距離など様々な問題も続いてきます。 そのためには、相模原市はいつまでも都心から程よいベッドタウン的な立ち位置ではなく、物流倉庫ばかりではなく広い土地を活用して企業の誘致、とくにテレワークに力を入れているような企業を増やして、親が抱える負担を少しでも減らせるような政策を打ち出してほしいと思います。 そのような企業が多くなれば、強固なインフラ基盤の整備や街づくりも考えやすくなるのではないのでしょうか。	本市の企業誘致施策としては、STEP50による製造業等の立地等に対する奨励金の交付や、ベンチャー・スタートアップ企業進出補助金等による支援など、多彩な支援メニューにより戦略的な企業誘致を推進しています。 今後は、本市を取り巻く社会経済情勢の変化を踏まえ、これまでの工場の立地に限らず、オフィスや研究所などの業務機能の誘致も重要であると考えており、リニア駅周辺のまちづくりをはじめ、新たなまちづくりと連動した多種多様な企業の誘致に向けた制度の見直しを検討してまいります。	イ
19	根本的な少子化対策は基本的に国が行うものですが、相模原市としてできることは子育て世代を積極的に呼び込むことで市の活力を高めることだと思います。 これには、若い世代が移住を希望するような魅力的な市へのアピールが必要です。 また、障害を持つ方々や社会的に支援が必要な層のサポートを続けることはもちろん重要ですが、高収入世帯を惹きつけることも市の経済力を強化する上で欠かせません。 彼らが相模原市に引っ越し、定住する動機付	・少子化対策事業（P10、11）	ア

	けを提供することが求められます。 相模原市が一層発展し、多くの人々が住みたいと思える魅力ある場所になるよう願っております。		
20	若者への誘致のためには、子育て世代以外の若者などにも都心へのアクセスの良さなどを売りにした PR が必要と考える。	・シティプロモーション推進事業（P90）	ア
21	登下校班への付き添いは保護者がやるべきではない。流山市のように、ステーションを用意して、そこに民間あるいはシルバー人材センターの人材が待機して連れ添うような仕組みが必要だ。親がフルタイムで共働きだと、こうした付き添いに負担を感じるので、相模原市に転居したくないだろう。そもそも相模原市は横浜や川崎と異なり都心から遠すぎるのにその時間のせいでさらに働けないからだ。また、高齢者が民間企業にゆだねることで雇用も生まれる。結果として市の中での消費も増えるはずだ。地域と結びつきたい高齢者もいるはずなので、孤独感も防ぐことになり良いのではないか。	国において、登下校に関する対応は、地方公共団体や地域住民のほか、保護者などが担うべきであるとされており、本市では地域や保護者等による無償の見守り活動と併せて、有償ボランティアである「学童通学安全指導員」を通学路に配置し、登下校中の児童を見守っています。 通学路の見守り活動については、共働き世帯の増加や高齢化の進行によって、担い手の確保が難しくなっていることから、広報さがみはらや市ホームページ等を活用した積極的な周知啓発に取り組むとともに、ながら見守り活動の登録者に学童通学安全指導員としての活動を促すなど、新たな担い手の確保に向けて取り組んでいます。 また、いただいたご意見は今後の国等への要望活動における参考とさせていただきます。	イ
22	教育の改革をしてほしい。YouTube や Newspicks で見た動画で、広島市の取り組みでイエナプランの導入をし、主体性や当事者意識を育む教育をしていると聞いた。また、横浜創英や公立の麴町中のように、宿題を減らす、ブラックな校則をなくすなど取り組む校長がいたとき。そのような取り組みでいじめや不登校が減ったという。これに対する調査は必要だとしても、市の公教育の質を高めることができれば、多くのファミリー層が安心して住むのではないか。私は、相模原市は教育関連の不祥事が多すぎて子育てに不安を感じている。補足す	相模原市では、子どもたちが持続可能な未来の担い手として自分の役割を果たし、自分らしい生き方を実現するための力を身に着けることができるよう、キャリア教育を推進しております。また、学区の小中学校の教員が一堂に会し、学区の特性や児童生徒の実態に応じた教育の在り方等について協議を行う「小中一貫の日」を設定するなど、学びの連続性を意識した教育活動を展開できるよう、取り組んでおります。引き続き	イ

	ると、今相模原市には偏差値の高い私立小学校や私立中学校や私立高校がないので、偏差値でしか推しはかれないというもあり、教育熱心な層は、横浜や都内に住むことになる。このまま市の公教育が変わらなければ、私がこれから子どもを産みたいとは思っているが、もし幸いにして出産できたとしても夫と別居して違う自治体に子どもと住み、そこにある学校に通うことも検討している。別途費用がかかってもそうしたいと思うほど、市の公教育に絶望した場合だ。そもそも東京都の方が学校の選択が多いにも関わらず、高校無償化や018などサポートが多すぎて大変魅力的なので、都と隣接している相模原市が財政的に厳しいのならやれることは公教育の質の改革で対抗することこそ大事だ。本当は東京並みに補助をしてほしいと思っているが。もし公教育の質を高めそれをアピールできれば、多くの人が子どもを育てるなら相模原市と、流山のように好感してくれ自然と転入超過になる。また、そこで育った子どもも、相模原市から大人になっても転出しないでくれるはずだ。	き、子どもたちが自分が住んでいる地域への愛着や誇りを感じることができるよう、取り組んでまいります。 教職員の不祥事に関しては、再発防止に努めるため、引き続き職員へのコンプライアンス順守徹底を進めていきます。具体的な手立てとしては、「教職員の危機管理意識を高める研修の実施」「コンプライアンスだよりを通した情報提供」等を実施しています。	
--	---	---	--

重点テーマ「雇用促進対策」についてのご意見

通番	意見の趣旨	「該当する取組」もしくは「市の考え方」	区分
23	現状ではハローワークオンラインのページも個人的にはかなり見づらいし、フォントも読みにくいです。	国の機関であるハローワークへお伝えいたします。	ウ
24	緑区の自然環境を活かしたワークショップや地域のアートを生かしたインバウンド観光プログラムを開発し、国際的な訪問者を引き寄せることで、地域の国際的なプロファイルを高め、関連する雇用機会を創出するのはどうでしょうか。意識の高い外国人だけをターゲットにすることがポイント。	夜の陣馬山を舞台に「アート×自分との対話」をテーマとした体験型コンテンツを造成し、その中で地元アーティストの作品を活用しているところです。 ターゲットの選定等についてはいただいたご意見を参考とさせていただきます。 緑区の自然をはじめ、歴史、文化などの地域資源を活用し、地域の魅力や	イ

		愛着をさらに高めるような取組や情報発信の在り方について引き続き検討してまいります。	
25	「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進などに取り組めます」に期待しています。 働く人が仕事を選ばなくてはいけなくなる場面は、何度か経験するものと思います。結婚、出産、親の介護、定年後市内に有力な企業が多くあればどんなに素晴らしい事か。	・雇用促進対策事業 - 多様な働き方促進事業（P14） ・仕事と家庭の両立支援事業（P63）	ア
26	失業手当の申請や国民年金の加入手続き、失業認定などがオンラインでスマートフォン・PCでワンストップで完結できるシステムを作りたいです。役所に行かなければならないのも手間だし、待ち時間が無駄でしかない。役所の方、ハローワークの方が全速力でやってくれているのは知っていますが、そもそも足を運ばなければならない仕組みが時代に合っていないと思います。マイナンバーカードを読み取って手続き完了、くらいの手軽さまで進めば理想的ですが、今すぐにそこまでは難しくともそういったオンラインで完結できるシステムがあれば孤立感も軽減されてよいのではないかと思います。現状ではハローワークオンラインのページも個人的にはかなり見づらいし、フォントも読みにくいです。	関係機関との連携強化に努めてまいります。 なお、失業手当や失業認定のオンラインでの申請につきましては、国の機関であるハローワークが担当しているため、お伝えいたします。	ウ
27	製薬会社の研究開発拠点などを相模原駅北口エリアの再開発の際に誘致するとよい。製薬でなくてもよいが、業界全体で見た時の給与水準が高い業界の本社機能あるいは研究開発拠点の誘致に所得水準の低い人の多い工場の誘致よりも力を入れるべきだ。例えば、有望なのは相模原駅北口エリアがある。そうした会社が来れば、そのまま給与収入の高い単身者層やファミリー層がそのまま周りに住むことで商業地域も活性化する。結果として市の財政も潤う。成功例としては藤沢市が挙げられる。湘南アイパークの前からここに拠点	本市の企業誘致施策としては、STEP50 による製造業等の立地等に対する奨励金の交付や、ベンチャー・スタートアップ企業進出補助金等による支援など、多彩な支援メニューにより戦略的な企業誘致を推進しています。 今後は、本市を取り巻く社会経済情勢の変化を踏まえ、これまでの工場の立地に限らず、オフィスや研究所などの業務機能の誘致も重要であると考えており、リニア駅周辺のまちづくりをはじめ、新たなまち	イ

	を持つことで多くの人が藤沢市に住むようになり、結果として市の財政力は維持向上されているものと推察。	づくりと連動した多種多様な企業の誘致に向けた制度の見直しを検討してまいります。	
--	---	---	--

重点テーマ「中山間地域対策」についてのご意見

通番	意見の趣旨	「該当する取組」もしくは「市の考え方」	区分
28	私の両親は80歳台で、父は運転を止めた。そのため私が毎週末車でスーパーへの買い出しを手伝っている。スーパーではタクシーで乗り付ける高齢者の方もいる。両親はそれなりに健康だが、病院通いが増えた。父はあまり長い距離を歩くことが出来ない。ある程度は車で送るが、ある週は平日5カ所の異なる病院、クリニックへ行き、私は音を上げた。タクシーで通うにも金銭的にかなりツライ。もう少しコミュニティバス網を充実させて欲しい。加えて神奈中バスに後期高齢者無料パスを出して欲しい。公共交通機関網をある程度補完しないと、高齢者他車を運転しない人が住めなくなる。	コミュニティバスは、交通不便地域におけるバス路線網の補完を目的として、導入を希望する地域住民が主体となり、運行経路の検討等を行っていただいた上で、収支比率や1便あたり輸送人員等の状況を満たす場合に導入しております。 主に導入検討の対象となる旧相模原市の区域では、民間バス路線が網羅されており、新規路線の導入は困難な状況となっています。 しかしながら、高齢化の進行に伴い、通院や買い物などの身近な移動に困難を抱える方が増加傾向にあることから、移動支援の目的や対象者等について、改めて部局横断的に検討し、地域の実情に応じた持続可能な移動手段の検討を進めてまいります。	イ
29	ワーケーション行ってみたいなと思いましたが、情報が少なかったのでそういうのが分かった良いなあと思いました。	・中山間地域対策事業 ワーケーション推進事業 (P16)	ア
30	タクシーを呼んでも来てもらえない地域でのライドシェアについて検討して欲しい。	交通事業者のドライバー不足が深刻化していることから、福祉施設や学校、企業などの車両やドライバーといった交通事業者以外の地域の輸送資源を活用するなど、ライドシェアも含めた移動手段の確保について検討を進めてまいります。	イ

3 1	サイクルツーリズムの発展のために、ToJ やオリンピックロードなどの PR もわかるが、ライドイベントなどを行うことやサイクリング系サイトへの PR も必要なのではないかと考える。	令和 6 年度に市主催のライドイベントを実施しました。 イベントの今後の実施やサイクリング系サイトへの PR は今後の検討課題とさせていただきます。	イ
3 2	都市部と繋ぐ道路の拡張、交通網の整備が必要と考える。	・都市計画道路等整備事業（P 5 6）	ア
3 3	中山間地域という名称が気になります。特色ある地域であることを広めていくためには、その地域の地名を使うなどして欲しい。過疎地域だけひとまとめにしたような印象で、地域をより良いものにしていこうという感じがしない、問題児扱いしているようだ。	「中山間地域」については、市都市計画マスタープランにおいて、豊かな水とみどりの保全等に取り組むとともに、生活に必要な機能の維持・充実を図り、立地特性を生かした土地利用等により、地域の特性を生かした魅力ある都市づくりを推進する「うるおいといこいのゾーン」として位置づけています。	イ
3 4	津久井方面が市の財政を圧迫せずに観光地となるためには、今までの発想だけでは足りないので、相模原市以外の人や地方を創発するような企業の発想が必要だと感じる。具体的には、外国人富裕層に求められるようなサービスを提供できるかという視点が今後重要になる。日本は円安要因が強まっていて購買力が下がるからだ。例えば、デスティネーションレストランなど、そこに行く目的になるような、そこにしかないようなものがないと、わざわざ津久井方面までいかないと思う。そこに行くまでに専用のリムジンだとか空飛ぶ車などで行けるみたいな気軽さがないと今のアクセス状況だと困難だと思う。	外国人観光客の誘客に向けては、近隣市等と連携し、情報発信などの取組を行っているところです。いただいたご意見については、今後の取組の参考にさせていただきます。	イ
3 5	多居住拠点を目指す人やワーケーションを実施している企業向けに津久井方面などだけでなく空き家を貸し出すサービスは良いと思う。ここで重要なのは、市がその建物の保有までしてしまわないことかもしれない。メンテナンスに費用がかかるため。住民票が移せない人もいると思うので、その際にはごみなどインフラ使用分の管理費用を市が何らかの形で徴収することをすれば、津久井方面などの人口減少を防ぎつつ、市税の増収にもなると思う。なお、こうした観点でも、戸別	相模原市の「空き家バンク」では、空き家への移住を検討している方に向けて、物件の情報を公開しています。今後も、空き家の利活用を促進するため、民間企業等と連携しながら、空き家に関する相談対応や情報発信の更なる充実に努めます。	イ

	収集は必須となる。さらに、緑区は首都直下型地震が来ても、震度4か5の地域が多いので、世田谷区などの木密地域で火災旋風に巻き込まれそうな人々が安全な拠点を借りるか持つのにちょうど良いかもしれない。実際、2拠点居住のタスクフォースとして、世田谷区の区議らが活動しているようだ。		
36	あきる野市の実験のようにドローンや自動運転車で配送するサービスができれば、中山間地でも暮らしやすくなると思う。そうすれば物流拠点の多い相模原市の利点を生かしやすいが、都市部に住む人からすると、落下物の危険があるので補償が必要になり、理解を得られにくいかもしれない。	ドローンの活用については、神奈川県でドローンの開発支援や実証実験等の支援を行っております。本市としても、神奈川県や民間企業等との連携を一層強化し、ドローンや自動運転等の実用化や普及に向けた取組を推進してまいります。	イ
37	中山間地を観光地にするにしても、それを支える人材が必要だ。津久井方面にはまだあまりメジャーな観光地がないので、大学や企業と連携するなどして、民間の資本を使って観光学科あるいは経営学科の学生により店や施設の運営を委ね経験を積ませる場にしても良いのではないかと。こうした取り組みは、沖縄北部テーマパークの開発にあたって、株式会社刀が中心となり、名桜大学と名護市が連携して観光人材を育てる等注目されている。こうした化学反応があれば、津久井方面も関係人口が増えて、様々な価値観に刺激されイノベーションが起きるのではないかと。今津久井方面は地価が低いので、そうした取り組みを市の方で関係大学と地元の土地所有者のマッチングサポートさえすれば、若い人もチャレンジしやすいのではないかと。	令和4年度より「観光まちづくり学部」のある國學院大學と包括連携協定を締結しており、授業において中山間地域の、観光資源を活かした観光まちづくりのあり方について連携し取り組んでいるところです。 民間の資本を使う等の具体的な計画はありませんが、いただいたご意見や他自治体の事例を今後の参考にさせていただきます。	イ
38	山間地域のPR不足が挙げられる。特に観光客呼び込みの観点からして不利なことが多い。東京や神奈川では車を持っていない人も多く、旅行に出かける際に電車を利用する人も多い。これらの人が西に日帰りなどの短期間で出かける際に、よく行く場所として挙げられるのが高尾山や富士山周辺である。 高尾山は相模原市から見て北にあり、富士山は相模原市から見て西にある。つまり相模原市より	中山間地域の魅力発信について、令和7年度に八王子市と連携し制作したフリーペーパー「散歩の達人 八王子×相模原」の中で、高尾山から陣馬山までの縦走ハイキングコース、両市のおすすめグルメや観光スポットを紹介しているところです。また、新たな中山間地域のコンテンツ造成として、陣馬山ナイトウォークの開発・販売に昨年度から取	イ

	東に住んでいる東京や神奈川の人が出かける際に、目的地が相模原市の手前であったり、相模原市を素通りされてしまうことが起きているのである。特に富士山周辺に行く人たちは特急列車や高速道路を利用する人も多く、途中で相模原市に立ち寄ってもらうことが難しい。 相模原市の山間地域にはさがみ湖リゾートプレジャーフォレストやキャンプ場など魅力あふれる場所が多数存在する。これらの人が相模原市に立ち寄ってもらえたり、また相模原市を目的として来てもらえるようにするためにも山間地域のPRは重要だと考える。PRの方法としては山間地域でのイベントの開催や私も見ている相模原市のシティープロモーション SNS での積極的な発信が挙げられる。 相模原市内の人では気づかない視点もあると思うので、市外の人からの積極的な意見の募集を行うことが重要だと考える。具体的にはワークショップの開催や SNS やイベントでの積極的な交流が挙げられる。	り組んでいます。 いただいたご意見を、今後の参考にさせていただきます。 近隣自治体等と情報交換を行い、相互に連携し魅力を発信する取組により、関係・交流人口の拡大を図ってまいります。	
--	---	---	--

目指すまちの姿Ⅰ：子育て・教育についてのご意見

通番	意見の趣旨	「該当する取組」もしくは「市の考え方」	区分
39	就労のことを考えると、安心して子供を産み育てられるのか心配になります。	・子ども若者健全育成支援事業（P27） ・待機児童対策に関する事業（P26）	ア
40	共働きでも安心して子育てできるようにしてほしい。	・子ども若者健全育成支援事業（P27） ・待機児童対策に関する事業（P26）	ア
41	学童が3年生までのため、その後はどうになってしまうのか不安なため、もう少し上の学年まで学童の利用ができるようになってほしい。	・中山間地域対策事業 - 放課後児童健全育成事業（P16）	ア
42	待機児童対策について ただ、保育所を建てるのではなく、保育者の処遇改善費をあげるだけでなく、保育所の質が求め	保育士等の配置基準につきましては、令和5年12月に国から示された「こども未来戦略」に	イ

	られていますと感ずます。 年々、保護者から保育所に求められることは増えていて、負担もかなりあると思います。 国レベルで変えてほしい事案ではありますが、相模原市の取り組みとして 子ども一人当たりの保育者の人数の割合負担を軽減して欲しいと思います。 長年この割合が変わっていないのはおかしいことです。 核家族が進み、子育てと仕事の両立が大変な方々が多い。その皺寄せが結果的に保育者に向かっているのです。 横浜市のように、相模原市独自の保育士基準を作って頂けたら有り難く感ずます。	において、4歳児及び5歳児について30対1から25対1、1歳児については、6対1から5対1に見直す方針が示されました。この方針を受け、4歳児及び5歳児については、令和6年4月から配置基準が25対1に改善されています。また、1歳児につきましては、現時点で配置基準の改善は改善されておきませんが、国からは、加速化プランの期間中（3年間）早期に改善を進める方針が示されているとともに、令和7年4月から新たに国給付費の算定において、5対1の割合等で保育士等を配置している施設を対象に「1歳児配置改善加算」が適用されることが決定しています。 このように国において、配置基準の改善を進める動きがある中、現時点で市独自で配置基準の改善を行うことは考えておきませんが、引き続き、国の動向を注視しつつ、対応を検討してまいります。	
43	経済的に塾等に通えないこどものために、無償または格安の補習塾の整備拡充が必要と考える。	・社会的養育推進・子ども若者生活支援事業（P27） ・子育て支援事業（P25）	ア
44	子供が安全に遊べるエリアを増やして欲しいため、下磯部地区に遊具のある公園を作って欲しい。新築戸建ても増えて、子育て世帯が増えた印象を受けるので利用者も多いと考える。	公園をはじめとするオープンスペースは、子どもたちの遊び場や市民の憩いの場などとして大切なものであると考えており、公園の配置状況や人口など、地域の動向を勘案し、計画的な公園配置に努めているところです。当該地域につきましては、現時点では新たに土地を購入するなどの具体的な公園整備計画	イ

		はない状況でございますが、引き続き地域の状況等の把握を行ってまいります。	
4 5	認定保育園の優先基準の中に、世帯の年収(課税額)が低い順、というものがあるが、年収が高い住民の方が、概して社会に貢献している可能性が高く、大型マンションの建設等によって、所得の高い世帯の移住、活発な消費も期待できることから、所得の高い順に優先することを検討してはいかがか。	保育所等につきましては、保育の必要性を確認する選考基準点数の高い順に入所を決定しています。 この選考基準点数が同点であった場合に、施設の希望順位が高い順、さらに同点であった場合に世帯の状況等を考慮する調整指数の高い順、この次に市区町村住民税の低い順に優先順位を設けています。 保育所等の選考につきましては、より保育の必要性が高い方を優先的に利用できる基準とさせていただきます。	イ
4 6	教育に関しては、学校の授業で JAXA と連携するなど相模原だからできる取り組みが行われている点が評価できる。 特に最近では、アメリカとのアルテミス計画で日本人宇宙飛行士が月面着陸する取り決めがされるなど宇宙に対する関心は今後高まっていくことが予想される。今後も JAXA と連携しながら、児童が成長できるような機会を設けるためにも、JAXA と深い関係を持つガラスの製造で有名なオハラ株式会社と共同での出張公演など相模原の技術力の高さを実感してもらえる機会を設けてもらいたい。 子供たちに相模原の魅力を伝えることで、市に愛着を持ってもらい、それぞれが「相模原といったらこれ!」と思うものを見つけてもらえるような政策を行ってほしい。	相模原市では、JAXA 職員を講師として招き「JAXA と考える宇宙を取り入れた授業づくり研修講座」を実施しています。また、「宇宙」という魅力にあふれた素材を活用して、児童生徒の資質・能力を育成する授業づくりについて教員が学ぶ研修をさらに充実させていきます。	イ
4 7	学童(児童クラブ)の充実(職員増強など)と民間連携・補助の実施	・子ども若者健全育成支援事業(P 2 7) ・待機児童対策に関する事業(P 2 6)	ア
4 8	図書館の利便性向上(駅前に出張所を作り、貸し出しを行うなど)	市立図書館につきましては、現在、淵野辺駅南口周辺地域に	イ

		分散している公共施設の集約・複合化する施設の一つとした再整備の中で、全市的なサービスの検討を進めております。 新図書館の整備に当たりましては、市民の皆さまがより良い図書館サービスをご利用できるよう、検討してまいります。	
49	学校給食の実現は必須と考える	・学校給食推進事業（P29）	ア
50	医療費補助の所得制限撤廃が一時的なものにならないよう恒久的なものを要望したい。	令和6年8月に高校生世代まで対象を拡大し、中学生までの養育者の所得制限を廃止した。今後は限られた財源の中で持続可能な制度としていく必要があるため、まずは今回の制度改正にしっかりと取り組む。	イ
51	子育てや教育にお金がたくさん必要な時代です。特に3人子供がいるのに、所得制限を少し上回っただけで医療費も3割負担です。将来の納税者をたくさん育てているこども3人以上いる家庭への支援には所得制限を設けないでほしいです。インフルエンザ予防接種や学校給食、私立高校の授業料も無料にしてください。	・令和6年8月に高校生世代まで対象を拡大し、中学生までの養育者の所得制限を廃止した。今後は限られた財源の中で持続可能な制度としていく必要があるため、まずは今回の制度改正にしっかりと取り組む。 小児のインフルエンザワクチンは、予防接種法で規定する定期接種ではないことから、本市としての助成はしておりません。 なお、定期接種のワクチンは、国において発症の予防効果や費用対効果などの議論を経て決定することから、動向を注視してまいります。 私立高等学校の授業料につきましては、国の高等学校等就学支援金と併せて、神奈川県における学費補助金制度により、実質的無償化になるのは一定の世帯年収までとなっていることから、現在、国会において所得制	イ

		限撤廃の議論が行われているところです。 また、教科書代や通学費などの授業料以外に必要となる費用もあり、子育て世帯の負担は大きいと認識していることから、本市では独自の支援として、市民税所得割非課税世帯の高校生を対象に、授業料以外の費用を支援する給付型奨学金事業を実施しています。 いただいたご意見は今後の国等への要望活動の参考とさせていただきます。	
52	子供の居場所を作るために、大野台公民館の有効活用が必要だと考える。 ①毎日無償（または低額）の塾を開校→居場所だけでなく学力向上にも繋がる ②長期休みには、毎日の昼か夕に子供食堂または、持参したお弁当をみんなで食べる場所を設ける→家で1人で食べるより絶対に美味しく食べれるし、子供食堂があれば親は弁当を作らなくて良いので働きやすくなり、収入アップに繋がり住民税増加に繋がる ③図書室をもっと広くして子供達の本を増やし、相模原市図書館と同じで無料Wi-Fiを設置して欲しい→読める本が増えれば居場所にもなるし、学力アップにも繋がる。無料Wi-Fiがあればタブレット学習が大野台公民館内でも可能になり、学力アップに繋がる。 大野台公民館を高齢者の居場所だけではなく、子供達の居場所になる様に工夫をお願いします 親が働いていると家に友達を入れるのは禁止で、家で一緒に遊ぶ事も出来ません 外で遊ぶには、夏は暑すぎます 児童館だけでは居場所は足りません 大野台公民館をその様な子供の居場所にして欲しいです。	公民館では、子どもから大人まで幅広い世代を対象に、地域住民が主体となって社会教育事業を実施しております。子どもの施設利用という観点では、本市の公民館のなかには、学習スペースを開放している館もあり、大野台公民館では、公民館事務室横に学習可能なスペースを常設し、窓口に申請いただくことで、学習スペースの利用者もWi-Fiに接続することが可能です。また、公民館を利用するサークル等のなかにはこども食堂を開設する団体もあり、大野台公民館においても開かれております。いただいたご意見については、幅広い世代の利用という観点を踏まえつつ、今後の参考とさせていただきます。	イ
53	生まれてからの支援ではなく、生まれる前から	本市では、出産前の支援とし	イ

	の生活環境を含めた支援策をお願いします。	て、母子健康手帳交付時に、保健師がすべての妊婦の方々と面談を行い、必要に応じて、家庭訪問などによる支援を行っています。また、妊娠 8 か月には、出産に向けた気持ちをお伺いするアンケートを実施しているほか、出産に向けて必要な知識を学んでいただく母親・父親教室なども実施しており、健康管理の面だけでなく、利用できる制度や手続きのご案内、仕事との両立に関することなど、出産・子育てを見据えた相談などにも応じているところです。引き続き、ご意見を参考にさせていただきながら、安心して出産、子育てができるよう、きめ細かな支援に努めてまいります。	
54	相模原市の子育て支援と教育政策に関して、いくつかの提案をさせていただきます。 まず、子供の医療費無償化に関する現行の所得制限について、これを撤廃することを強く提案いたします。現在の制度では、東京の水準に比べ所得制限が非常に低く設定されており、年収が高い市民が恩恵を受けられない状況です。このため、年収が高い子育て世代が他県へ移住し、結果として市の収支が赤字に陥る恐れがあります。所得制限の撤廃は、高収入世帯を市内に留め、経済的なバランスを保つ手段となり得ます。 次に、現在の高齢者支援の一部を見直し、将来のある子供世代への支援をさらに充実させるべきです。未来を担う子供たちへの投資は、長期的な市の発展につながります。 教育政策については、東京に匹敵することは困難ですが、特色を持たせることは出来ると思います。例えば、英語教育を全国で最も力を入れるな	令和6年8月に高校生世代まで対象を拡大し、中学生までの養育者の所得制限を廃止した。今後は限られた財源の中で持続可能な制度としていく必要があるため、まずは今回の制度改正にしっかりと取り組みます。 相模原市では、全小・中学校及び義務教育学校に外国人英語指導助手を配置し、小学校の段階から、生きた英語に触れ、英語を用いて進んでコミュニケーションを図ることができる児童生徒の育成を目指しております。今後、英会話の練習のため、生成AIの活用についても検討していく予定です。 グルメに関しては、潤水都市さがみはらフェスタにおけるラーメングランプリや、さがみはらスイーツの情報発信などの取	イ

	ど、相模原市出身の子どもたちが一定レベル以上の英会話能力を持つことを目標にするといった革新的な教育プログラムが考えられます。これは、グローバル社会で活躍することを重視する高収入世帯にとって魅力的なポイントとなるでしょう。 また、市内のグルメシーンの活性化も重要です。東京の人気店を誘致し、市内の飲食業界を盛り上げることが、住民だけでなく観光客を惹きつける一助となります。	組を官民連携で行っているところです。いただいたご意見を、今後の参考にさせていただきます。	
5 5	教育関連不祥事が多すぎるのでイメージが悪い。PTA 活動には疑問があると共に、保護者や教師の負担が大きいため、廃止にすべき。	No.22 の見解と同様に教職員の不祥事に関しては、再発防止に努めるため、引き続き職員へのコンプライアンス順守徹底を進めていきます。 具体的な手立てとしては、「教職員の危機管理意識を高める研修の実施」「コンプライアンスだよりを通じた情報提供」などを実施しています。 PTA は、公の支配に属しない社会教育関係団体であり、運営方針や活動内容等は各団体において定められているものと承知しております。そのため、廃止等についても各団体ごとに判断いただくものと考えております。	ウ
5 6	教育関係で飛び級等があれば良いのと思っている。実現できるか定かではないが、国際教育特区というのであれば、飛び級制度や留学等国际基準の教育に力を入れてほしい。飛び級認定できた子どもは市で1年間など国際交流のある都市の学校に留学に行ける制度を作るなど魅力があれば良いと思う。「トビタテ」という組織があり、高校生が1年間留学できるよう国などから補助金を支給できる仕組みもある。しかし、相模原市の高校で留学にいける子どもを調べると、相模原のロータリークラブを通じて奨学金を得て相模原市中等教育学校の高校生が1人毎年留学にい	相模原市国際教育特区は、民間企業の意欲やノウハウを活用して、外国人教師等が英語で教科や生活指導などを行う小学校を株式会社が設置するという特定の事業の実施が認められた制度であり、特定事業以外の事業（市内の高校生に対する留学支援等）を実施することができるという制度ではございません。 新たに市立高校を設立し、ご提案いただいたような取組を行	ウ

	っている程度ようだ。高校に1年在籍していないと通学日数が足りなくなるのではという危惧もあるので、制度のない公立ではなく手厚いサポートのある私立を目指す子どもも多いと聞く。さらに、LCA 小学校は相模原市民の所得水準からしても学費が高すぎるので、倍率も低すぎる。市民としては他に魅力がないと、国際教育特区であると他の市民や県民にすら認識されていないのではないかと思う。また、相模原よりも遠い軽井沢に教育移住した層もいるので、もっと魅力的な学校を作るか整備してほしい。	うことも考えられますが、少子化の影響もあり、神奈川県において県立高校の再編・統合を進めている中であっては、慎重に検討する必要があると捉えています。	
57	学校における特別支援教育推進のため、研修を経た市民を教員、児童のサポーターとして各小中学校に全校配置を行う計画を早急に進めて欲しい。その際、サポーターをボランティアとして導入するのではなく、市がその役割を理解し価値を置いている証明として、対価の発生する仕事としてしっかりと雇用して欲しい。	学校サポーターは、本年度から有償ボランティアとして位置付け、昨年度の小学校7校17名から、13校26名に増員し、情緒が不安定な児童の見守りや、離席してしまう児童への言葉かけなどのサポートを行っている。今後については、更なる拡充を目指し、より多くの方に学校サポーターとしてご協力いただけるよう位置づけや処遇等の課題の整理に努めていく。	イ
58	「小児医療費助成制度の拡充」に関し、相模原市へ、若い世帯、高所得世帯を呼び込むために、高校生の所得制限をなくすべきと考えます。隣接する東京都が、すべての世帯で私立高校授業料を実質無償としたことを考えると、所得制限額を超える子育て世帯は、こぞって東京都に流れると思います。さらに、子供のへの給付・助成に関して所得制限を設けることは、憲法14条1項の法の下に平等に反すると考えます。特に、物価が上昇した昨今、所得制限を超える世帯であっても、生活が楽なわけではありません。さらに、子供を私立高校に行かせていて、子供の数が多くて、所得制限を少し超えるぐらいの世帯であれば、私立高等学校授業料の実質無償化の所得制限にも引っかかり、生活はむしろ、子供を私立高校に通わせる所得制限に満たない世帯よりも厳しいと思います。2024年10月から児童手当の所得制限もな	令和6年8月に高校生世代まで対象を拡大し、中学生までの養育者の所得制限を廃止した。今後は限られた財源の中で持続可能な制度としていく必要があるため、まずは今回の制度改正にしっかりと取り組みます。 私立高等学校の授業料につきましては、国の高等学校等就学支援金と併せて、神奈川県における学費補助金制度により、実質的無償化になるのは一定の世帯年収までとなっていることから、現在、国会において所得制限撤廃の議論が行われているところです。 また、教科書代や通学費など	イ

	くなります。事務的に負担を考えても、児童手当と条件を合わせた方がよいと思います。ぜひ、ご再考をお願いする次第です。さらには、東京都がすべての世帯で私立高校授業料を実質無償としたこと自体に対しても対抗策が必要だと考えます。足並みを揃えて、相模原市に住んでいたとしても、すべての世帯で私立高校授業料を実質無償としないと、所得制限額を超える子育て世帯は相模原市を選ばないと思います。	の授業料以外に必要となる費用もあり、子育て世帯の負担は大きいと認識していることから、本市では独自の支援として、市民税所得割非課税世帯の高校生を対象に、授業料以外の費用を支援する給付型奨学金事業を実施しています。 いただいたご意見は今後の国等への要望活動の参考とさせていただきます。	
--	---	--	--

目指すまちの姿Ⅱ：福祉・医療・共生分野

通番	意見の趣旨	「該当する取組」もしくは「市の考え方」	区分
59	障害者の社会参加に、精神障害者に対する補助金・助成の内容をしっかりと考えて欲しい。 （例えば、自動車運転免許取得費用の助成に精神障害が除外されている。今は発達障害の人向けの自動車教習プランも有るのに。そのように、精神障害だからという一括りで、出来ない・必要ないと決めつけて欲しくない。時代錯誤である。）	自動車運転訓練費助成事業は、技能教習に支障がある下肢等の身体障害者を対象としております。	イ
60	在宅医療を円滑に進めるため、市で他職種連携のネットワークを構築してほしい。	・包括的支援事業（P36）	ア
61	路上喫煙者がかかなり多いです。自分の住まいはJR 相模原駅から徒歩数分圏内なのですが、コンビニ（ファミリーマート、ローソン、セブンイレブン）やラーメン屋の脇、居酒屋の前など、路上喫煙禁止区域でもおかまいなしに路上喫煙をしている人が多くいます。また、JR 相模原駅付近の喫煙所、およびパチンコ店裏の喫煙所についても、排煙対策が何もされていませので、通るたびに煙草アレルギーの自分は苦しい思いを強いられています。また、喘息持ちの人や肺機能の弱いお年寄りの方々も多く通る場所だと思いますし、まだ体の小さいお子さんを連れているご家族も非常に気の毒です。禁煙区域での喫煙についてはペナルティをしっかりと課してほしいですし、煙が外に漏れないようにしてほしいです。吸い殻のゴミもかなり見ますし、街の景観を損ねていま	相模原駅周辺の道路につきましては、路上喫煙防止条例において路上喫煙重点禁止地区に指定していることから、路上喫煙防止指導員が定期的に巡回し、路上喫煙者を発見した場合には、路上喫煙を止めるよう、指導を行っております。しかし、パチンコ店の敷地等の私有地内の喫煙は市では対応できませんので、ご了承ください。 また、駅にある喫煙所につきましては、路上喫煙を減少させるとともにタバコのポイ捨てを減らすために設置をし	イ

	す。	ておりますが、ボックス型の喫煙所の設置は、難しい現状ですので、ご理解ください。 なお、吸い殻ゴミは、主要駅を順番に週1回程度、路上喫煙防止指導員が巡回の際に回収を行っております。	
62	私の実体験なのですが、2022年12月末から2023年1月の年末年始のとき、おそらく通勤電車が原因で新型コロナに感染し、ひどい発熱となどの炎症に死にそうな思いをしました。声がまったく出なくなり、病院も発熱している人は受診できない、自宅療養をするしかない中、食糧配布が電話でしか受け付けておらず、申請もとるかよくわからないという状況で、まるで市に見捨てられたように感じました。LINEを通じて感染者として情報提供、登録はしましたが、検査キットの写真を送って感染が認められたのに、食事も自分でなんとかしろというのはあまりにひどかったと思います。結局私はお腹が空いても何も食べるものがなく、重たいというかもうまともに動かない体を引きずって、ほとんど這うようにしてコンビニへ行って買ったパンでしのぎました。まだ30代なのでなんとかかなりましたが、この街で住み続けたいという気持ちはそれ以降半減しました。	新型コロナウイルス感染症の自宅療養の方に対する配食サービスについては、感染拡大を防止するため療養期間中に外出する必要があるよう県が県全域で令和2年11月2日から実施していましたが、令和4年8月1日からは、サービスの対象を経済的事情等により、食料品の確保に窮している方のみを対象に変更されました。令和4年9月25日に発生届の対象が65歳の方、入院を要する方、妊娠している方、重症化リスクがある方に限定されましたが、県は発生届対象外の方も対象に療養支援を受けられるよう陽性者登録窓口を開設していました。本市では、令和3年12月10日から県の配食サービスが届くまでの期間も食料の確保が難しい対象者に対し、2日分程度の食料品等の配送を行っていました。 感染拡大時には、電話が通じにくく、サービスに迅速につながらない状況もあったと把握しております。今後、新たな感染症が発生した際には、自宅療養期間中のサービスの目的、必要性や内容、連絡方法につきましては、相模	イ

		原市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、病気の経過、病状の重さ、感染状況等を踏まえ検討していくものと認識しています。感染者数の大幅な拡大があった際には、全ての感染者の方を療養支援のサービスの対象とすることは困難と考えられ、利用できる民間サービスの情報提供や健康危機の際の備えの周知等も併せて検討してまいりたいと思います。	
63	両親が後期高齢者となり、これから介護が大変になってくる。何が出来るのか、広報さがみはらからだけではわかりにくい。もう少し何とかならないか。	現在、市 HP 及び介護保険パンフレット等にて周知を行っています。	イ
64	先日 75 歳以上対象という事で 5 千円、私ども夫婦で 1 万円が届きました。何のためのお金なのか理由も意味も分かりません。 高齢者も多い事ですし、このようなバラ蒔きは辞め纏めて有効に使って頂きたいと思いました。 例えば夫は初期の認知症と診断されこの先徘徊などの心配が出て来ると予想されます。先日も TV で認知症による行方不明者の増加が放映されていました。 提案はそうした対象者に居場所のわかる機器を（服、靴などに取り付けられる）配布出来ないかという事です。今、各場所に設置されている防犯カメラに対象者が通過すると反応する機器を備えている自治体もあると聞きました。 相模原市にも是非取り入れて欲しいと思います。	認知症のある方等の行方不明に備える事業として、GPS 機器を活用して居場所をご家族に伝える「認知症高齢者・障害者等見守り検索サービス事業」と、事前に情報を登録いただき協力事業者の連携により行方不明時の早期発見・身元照会等を行い、希望する方には二次元コード付見守りシールを配布する「認知症高齢者・障害者等 SOS ネットワークシステム（見守りシール事業含む）」があります。 今後も引き続き認知症のある方や、ご家族の支援について検討してまいります。	イ
65	新生児スクリーニング検査にて軽度難聴が発覚をして 0 歳から補聴器をつけています。軽度がゆえに、補助金がほぼないため、自費での購入となり負担が大きい。新生児スクリーニング検査の必要性は高まり検査費用は補助がでて受ける人が増えた。そのため、難聴に早期発見できるよう	軽度・中等度の難聴児の方の補聴器の購入・修理については、相模原市軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業により助成を行っております。	イ

	になったが購入や療育を受けるための案内などの補助が手薄と感じる。軽度であれ、重度であれ購入する補聴器の価格はほとんど変わらないのに、助成金ができるかでないかは大きな差で負担になる金額が変わる。ぜひ、助成金など買い替えのタイミングでの補助金を出してもらえるようにお考えいただきたいです。		
66	障がい者雇用で働きたいと思っても高齢になると就職するのも一苦勞です。56歳の夫は3年間の就労支援サービスを受けたものの職に就けず、B型継続支援事業所でお世話になっています。 高齢の障がい者も仕事を持ち、普通の生活が送れるような市の支援が欲しいと考えてます。 今年度、小学校の補助職員としてハローワークで障がい者の雇用を支援してくださっていたかと思います。この施策はとてもいい事だと思いました。ただ、職につける人はほんの数名でしかありません。 ここで必要なのは、障がい者雇用の創出です。 まだまだ健常者と比べると、職につくチャンスが足りないと思っています。 働きがいもないですし、職もないので貧困生活に陥っています。 こういった現状がある事を知っていただき、市で出来る支援策があれば計画に取り入れてください。	・共生社会推進事業（P37）	ア
67	こどもの医療費について中学生までは所得制限撤廃されましたが、高校生も含めて欲しいです。所得制限をこえると、歯医者も内科も3割負担でこども3人いる我が家は毎月の医療費が高いため、自分の受診控えをしないとなくなてつらいです。	令和6年8月に高校生世代まで対象を拡大し、中学生までの養育者の所得制限を廃止した。今後は限られた財源の中で持続可能な制度としていく必要があるため、まずは今回の制度改正にしっかりと取り組みます。	イ
68	子育てするなら相模原市を実現するために、明石市と同じこども医療費の無料化（18歳まで）が必要と考える。 なぜ高齢者は1割負担なのに、同じ弱者である子供は3割負担なのか	令和6年8月に高校生世代まで対象を拡大し、中学生までの養育者の所得制限を廃止した。今後は限られた財源の中で持続可能な制度としてい	イ

	所得制限なし、回数制限なしで無償化お願いします。	く必要があるため、まずは今回の制度改正にしっかりと取り組みます。	
69	タバコの規制を強化してほしい。若年層ほどタバコを吸わないし、子どもに近寄らせたくないと考えているので、そうした規制をすれば、東京ではメジャーでも神奈川では珍しい自治体として注目されるはず。今も喫煙所もあるが、風でたばこの煙は流れてしまうので、立川駅北口にあるようなボックスのようなものをなるべく置いてほしい。また、マンション近くの事業所の人ガレージで喫煙して迷惑だが、そういう例がたくさんあるので規制してほしい。外に洗濯物が干せないため。副流煙で肺腺癌になる人が増えれば、市の財政を圧迫するのではとも。	望まない受動喫煙が生じることのないよう、今後の受動喫煙対策の参考とさせていただきます。 市内各駅周辺の道路につきましては、路上喫煙防止条例において路上喫煙禁止地区に指定していることから、路上喫煙防止指導員が定期的に巡回し、路上喫煙者を発見した場合には、路上喫煙を止めるよう、指導を行っております。しかし、マンションの敷地等の民有地内の喫煙は市では対応できませんので、ご了承ください。 また、駅にある喫煙所につきましては、路上喫煙を減少させるとともにタバコのポイ捨てを減らすために設置をしておりますが、ボックス型の喫煙所の設置は、難しい現状ですので、ご理解ください。	イ

目指すまちの姿Ⅲ：安全・安心分野

通番	意見の趣旨	「該当する取組」もしくは「市の考え方」	区分
70	停電で通信網が遮断された時、スマホやインターネットなども通信できなくなり全く情報が入らなくて不安だった。停電時の市や地域での情報伝達などに課題があると思う。	停電により通信網が遮断された場合、避難指示等の情報については、停電時においてもバッテリーで駆動する防災行政用同報無線（ひばり放送）、ラジオ（エフエムさがみ、FM横浜）、広報車、自主防災組織等を通じて伝達することとしております。いただいたご意見も参考に今後も多様な	イ

		手段により住民に必要な情報が伝達できるよう努めてまいります。	
7 1	万一の災害に備えるためにも、地域の結束力が必要。 私のマンションでは、自治会は組織率 10% 以下でほぼ崩壊しており、災害時には機能しない。 地域住民を含め、顔見知りを増やす施策が必要。	地域コミュニティの活性化について、引き続き取り組んでまいります。	イ
7 2	相模原市のよいところは、都内や横浜に通勤が比較的しやすいところの中でも、災害リスクが少ないエリアが多いところなのでそれが魅力。特に市内の河岸段丘の上段には地盤が固いところが多く、台地上で地下水位が低く液状化リスクが低いので、そうした場所であるとまずは知ってもらうことが大事ではないか。確認方法は重ねるハザードマップや市のハザードマップでできる。	災害による本市の被害想定については、市HPなどで公表していますが、引き続き、必要な周知に努めてまいります。	イ
7 3	空き家や住んでいても管理不全な住居をなくす対策が急務と感じる。管理不全な建物は外部不経済で、災害リスクを上昇させるだけでなく、地価が下落し、その周囲の衛生面や治安も悪化させるので害悪だからだ。例えばタウンニュースを見ても火災が多すぎて、消化が間に合わず、全焼や類焼となるケースが多くあり恐怖がある。昨年 1 2 月に国が特定空き家だけでなく、管理不全空き家の固定資産税の増税化をしていたが、これだけでは足りず、京都のように住民票で把握できずたまにしか住んでいないほぼ空き家の空き家税を取るよう強化してほしい。そのような人も市のインフラを使うからだ。同じ中央区で今度引っ越すが、窓が割れて屋根瓦も半分なく防水もされておらず、外壁が崩れてきている家が隣接しており恐怖を感じている。そうした住居がなくなるようメンテナンス費の補助を出すか流通しやすいように売買の際の解体費用の補助をしてほしい。	管理不全空き家等に該当する可能性がある空き家については、現地調査を行い、市の認定基準に基づき管理不全空き家等に該当すると判断した場合は、空き家の所有者に対して、必要な指導を行い、改善を促しています。 空き家の解体費補助制度については、本市では、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼすおそれがあり、跡地が地域の活性化に供される空き家の除却費用の一部を補助する制度がありますが、今後は、他自治体の取組なども踏まえ、より活用しやすい仕組みとなるよう、現行の補助制度を見直します。	イ
7 4	インフラへの投資をして、安心して住み続	・土木インフラ等安全対策事	ア

	けられる街であってほしい。国土交通省の調査で、橋や水道管などが壊れてから補修する事後保全と予防的に補修する予防保全とでは後者のほうが安く済ませられるとのこと。単年度の予算しかつけれられないなどの制限のせいで技術職の採用ができていない自治体が多いと聞くので、少子高齢化がますます激化し人件費が上がるのでそうした分野には重点的に予算をとってやって欲しい。	業（道路災害防除事業）（P 4 6） ・土木インフラ等安全対策事業（下水道施設耐震化事業）（P 4 7）	
7 5	消防車がとにかく間に合うよう働く人の確保が大切なのと、設備にも投資してほしい。	近年の激甚化、複雑化する災害や増加する救急需要に対応するため、人員確保をはじめ、消防施設（消防署所、消防車両・消防水利等）の整備を進めるなど、引き続き、消防力の強化に必要な取組を進めてまいります。	イ
7 6	解体費用の補助をするなどして、壊れた空き家や居住していても危ない家の対策を強化してほしい。解体後に耐震等級3などの性能の高い注文住宅や建売住宅の建設を優遇すると、そうした住宅に置き換わるので、町の災害リスクを減らすことができる。今、住宅取得価格は高騰しているが、解体費の補助を出すような自治体はまだ周辺にあまりないと思うので、市がそうした取り組みをすれば古すぎて危ない住宅を減らしつつ、比較的所得の高い層を呼び込むことができる。あるハウスメーカーに聞いたところ解体費用は昔は100万円程度だったそうだが、近年では高騰しており200～350万円くらいするケースも多いという。建物の所有者には建物を壊れたまま放置してほかに人の所有物、生命や身体に損害を及ぼした場合には無過失責任がある工作物責任があることを周知してほしい。	管理不全空家等に該当する可能性がある空き家については、現地調査を行い、市の認定基準に基づき管理不全空家等に該当すると判断した場合は、空き家の所有者に対して、必要な指導を行い、改善を促しています。 空き家の解体費補助制度については、本市では、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼすおそれがあり、跡地が地域の活性化に供される空き家の除却費用の一部を補助する制度がありますが、今後は、他自治体の取組なども踏まえ、より活用しやすい仕組みとなるよう、現行の補助制度を見直します。 また、空き家の解体費や解体後の土地の売却価格の概算額を無料で積算できる相模原市版「AI による解体費用シ	イ

		ミュレーター」や、空き家所有者の管理責任や適切な管理方法、相談窓口などについて、引き続き、ホームページ、リーフレット、セミナーなどを通じて、空き家の所有者に周知を図ります。	
77	家のメンテナンスを疎かにする人が多すぎるので、意識改革が必要だ。分譲マンションと異なり定期的にメンテナンスを受けていない戸建てが多すぎると思う。例えばだが、メンテナンスを定期的に受けていない築10年以上の戸建ては、風災保険が下りずカーポートや屋根の修繕ができないことがあると聞いた。そうしたデメリットもあり、メンテナンスは必要だ。そして、メンテナンスが定期的にされていれば、町全体が安心して暮らせる災害に強い町になるので、市としても町全体のメンテナンスへの意識を改革してほしい。	空き家所有者の管理責任や適切な管理方法、相談窓口などについて、引き続き、ホームページ、リーフレット、セミナーなどを通じて、空き家の所有者に周知を図ります。	イ

目指すまちの姿Ⅳ：まちづくり・活力分野

78	相模原は駅から離れた場所に魅力的なスポットがある印象です。行きたいなと思っても、バスだったり行き方が複雑だと億劫になり諦めてしまうこともあると思います。 その点でレンタサイクルはありがたいですが、少し台数が少ない印象もあります。	本市の観光振興を図る上で、駅から目的地までの移動手段である、いわゆる「二次交通」が課題と認識しています。いただいたご意見を、今後の参考にさせていただきます。 誰もが移動しやすい交通環境の実現に向けては、公共交通に関する分かりやすい情報の提供が重要と考えておりますことから、商業施設や観光施設、交通事業者等と連携した周知に努めてまいります。	イ
79	相模原には多彩な可能性があります、「そこに行かなければならないもの」のアピールがもっとあっていいかもしれません。	・シティプロモーション推進事業（P90）	ア
80	幹線道路の自転車レーンはとても走りやす	・自転車通行環境整備事業（P	ア

	かった。	58)	
81	都内の自宅を出て南区中央区へ降りた時の空の大きさ、山並み、空気の綺麗さは単純に感動し癒され小さな旅行へ来た気分になります。マイクロツーリズムよりももっと手軽で小さなツーリズムの可能性もあるのではないかと感じました。	本市は、都心から約1時間で来ることができるため、首都圏からの誘客に向けて、アウトドアや体験型コンテンツの磨き上げや情報発信などに取り組んでいます。	イ
82	リニアを起爆剤にした横田、厚木基地への民間機乗り入れ交通網の整備	横田基地、厚木基地に由来する航空機騒音の課題があるため、今後の騒音状況について注視していきます。	イ
83	相模原市には映画館は橋本しか無い。 橋本よりも都市に近い相模大野に映画館を作って欲しい。(相模大野に無いので映画館に行く時は座間か海老名、新百合ヶ丘の映画館を利用している。) 噂程度に聞いた話なので本当かどうかは分からないが伊勢丹の跡地にはマンションが出来らしいので1Fは商業施設(店舗)や映画館があればより活性化されると思う。	本市では相模大野駅周辺において商業機能の集積に取り組んでおりますが、映画館を含めた店舗等の設置は企業の判断で行われるものとなります。 伊勢丹相模原店跡地については、事業者である野村不動産株式会社により、1階、2階部分に商業・地域貢献施設を配置する計画となっており、2階の公共歩廊に面する広場には大型デジタルサイネージを設置する計画となっています。	イ
84	健康についての項目でも述べましたが、駅前のパチンコ店やスナックには辟易しています。別に人の趣味を否定するつもりはありませんが、なぜ一等地のエリアに堂々と建ってられるのか。子育てのしやすいまちへとか、バリアフリーなまちへとか色々輝かしいモットーを掲げていらっしゃるのに、条例がないことが残念です。せめて、南大沢駅や多摩センター駅付近のように、少し死角の位置にあるとか、落ち着いたファッションビルの地下1階に入っているとかであれば、寂れた・荒れた印象は防げると思います。あの大きな駅前のパチンコ屋が、パルコだったらいいのに。	現在検討中である相模原駅北口地区土地利用計画の策定に向けての市民意見として参考にさせていただきます。	イ

	せめて、美容院やカフェ、レストランですか、あるいはグッズショップなど、若々しく清潔で身綺麗な層のお客さまが多く入るお店の複合施設だったらいいのにと何度思ったかわかりません。 また、橋本か淵野辺まで行かないと図書館がないというのも残念でなりません。(清新公民館の図書室はちょっと、小さすぎますよね。) ほんとうに、図書館だったらいいのに……。まるまる図書館でなく、八王子のサザンスカイトワーのような、ホール併設でもいいと思います。南大沢のように明るくてウェルカムな空気を相模原駅前周辺でも作れると思うのです。せっかく、JR 相模原駅があんな天窓仕様で明るくてさわやかなのに、駅から出るとほんとうに陰気で、がっかりです。あの陸橋もタイルが非常に歩きにくいし、雨の日は水たまりだらけになるし、陸橋のデザインも、どうしても海老名、府中などの駅前と比べてしまいます。ただ、雪の日に凍結対策をしてくださっていることについてはとても感謝しておりますよ。 相模原の人のやさしく穏やかな雰囲気を生かしながら、もっと気分良くお散歩したくなるような街になってほしいです。色々残念でなりません。		
85	地域活性化のために、ローカルスポーツの強化、インフォメーションをお願いいたします。	本市の持つ豊かな自然環境を生かしたレガッタ大会や駅伝・マラソン大会を開催しております。それらをさらに広く周知し、大会をきっかけとした来訪者増による地域活性化に取り組みます。	イ
86	相模原への郷土愛とシビックプライド醸成のために市内に4団体あるプロ球技チームの活用が有効ではないか。現状では交通利便性が悪い麻溝公園のスタジアムが試合に使用されているために観客数が少ないが、相模原補給廠跡地にスタジアムがあれば、ファンの裾	プロスポーツの迫力を身近に体験できる環境はスポーツ文化の振興のための重要なインフラと考えています。本市は、4つのフットボールチームをホームタウンチームとし	イ

	野は確実に広がり、観客動員増による周辺商業地域への経済効果が活力あるまちづくりにも有効と考える。	て認定しており、いずれのチームも相模原ギオンスタジアムをホームスタジアムとしています。そのギオンスタジアムでは陸上競技の著名な大会も開催されますが、開催候補日に空きがないこともあります。こうしたことから、スタジアム整備については、スポーツ振興の在り方のひとつとして今後も検討していきます。	
87	渋滞によるバス遅延への対策として、市道の拡張もしくは、バス専用ルートの整備がほしい。	バス遅延への対策に限らず自動車交通の円滑化を図るために、都市計画道路などの幹線道路の整備を推進するとともに、交通集中地域においては、交差点の改良事業のほか、自動車利用の抑制に資するソフト的な取組である交通需要マネジメントとして、施策検討や社会実験等の取組を進めていくこととしております。	イ
88	リニアが来て便利になる一方、公共交通機関がバスしかないとか、電車の本数が少なく不便な地域もある。早期に広域交通網の拡充を実現して欲しい。	広域交通網の拡充については、リニア中央新幹線の開通やリニア駅周辺のまちづくりを見据えながら、新たに生じる交通需要への対応に向け、交通事業者と連携を図りながら検討を進めてまいります。	イ
89	2023 年はミリオンライブ！とのコラボありがとうございました。地元との丁寧なコラボ、とても嬉しかったのでぜひまた機会があれば幸いです。	貴重なご意見ありがとうございます。今後のコラボレーション企画等の参考にさせていただきます。	イ
90	相模原には時々遊びに行きます！ [Alexandros]のファンなので相模原に行くようになりましたが、ゆかりのあるところが増えたといいなと思っています。 自然も豊かなので休みの日に行きやすい自然の施設があると嬉しいです！	貴重なご意見ありがとうございます。今後のシティプロモーション事業等の参考にさせていただきます。	イ

9 1	田名地区が高齢者に優しく魅力ある地域になるためには交通網の整備が必要です。世の中で高齢者の運転免許返納が進められていますが、田名は最寄りの駅がない、バス本数が少ない、バス停まで遠い、買い物する店が少ない、理由で車がない生活は考えにくい。小田急線延伸はおおいに期待してるがなかなか実現しない。小型のバスとか工夫して田名地区を網羅するバス路線がほしい。コストコやららぽーとなど人気の店ができれば便利で魅力的になり人が集まるので新たな交通網の計画がしやすいと思う。雇用確保もつながる。物流倉庫ばかりでなく地元民がワクワクするようなアクションがほしい。畑などがあるので土地は今ならありそうです。宅地になってからでは遅い。田名バスターミナルが立派になったので地元民以外にも利用されるような周辺を整備する計画がほしい。高齢の親には免許返納を勧めたいが車がない生活は厳しい。橋本駅周辺などリニアで期待が高まる場所はおのずと整備されますが、田名など離れたところこそ便利に活性化することを考えるべきでないかと。誰もが便利に安心して暮らせることを願っています。 駅から離れるほどバスの本数が少なく交通が不便になるのは疑問です。神奈中バスが独占してますが他のバス会社も参入考えてほしい。駅周辺を開発することが議論されていますが、是非、田名地区など不便な地域も活性化する案をお願いします。もうすぐ80歳になる親に免許返納をさせるような交通網の整備をお願いします。すごく切実です。	田名地区は、身近な生活サービスなどの機能を地域に応じて維持・誘導し地域住民の日常生活を支える拠点の形成を目指しております。 また、交通施策については、高齢化の進行に伴う移動制約者の増加や深刻化する交通事業者の運転士不足等を踏まえ、地域の実情に応じた持続可能な移動手段の検討を進めてまいります。	イ
9 2	境川活性化と安全・安心のために、全面舗装道路にして欲しい。 現在で鵜野森から古淵まで舗装されていない箇所がありまた照明もほとんどありません。ただ町田側は舗装や照明などされておりとても夜でも安心して通れ、むしろ町田と相模原でかなりの格差が開く一方です。これから夏になりますが過去にはホームレスの方、	ご指摘を受けた境川沿いの砂利通は、相模原市道ではなく、東京都南多摩建設事務所が管理する河川管理通路となります。	ウ

	若い方の溜まり場になる傾向が多いです。 とにかく安全のために舗装を優先して欲しい。よろしくお願いします。		
93	JR 相模原駅北口開発について、スタジアムの設置を強く希望する。SC 相模原は J3 に低迷しているものの、ラグビー、アメフト、女子サッカーは 1 部リーグに所属しており、今後も活躍が見込める。J1 基準の 15,000 人程度の規模とし、コストや周辺地域の渋滞等も考慮し、ラグビーやアメフトにも使いやすいフィールドサイズとし、市民が出掛けやすい施設として欲しい。	プロスポーツの迫力を身近に体験できる環境はスポーツ文化の振興のための重要なインフラと考えています。本市は、4 つのフットボールチームをホームタウンチームとして認定しており、いずれのチームも相模原ギオンスタジアムをホームスタジアムとしています。そのギオンスタジアムでは陸上競技の著名な大会も開催されますが、開催候補日に空きがないこともあります。こうしたことから、スタジアム整備については、スポーツ振興の在り方のひとつとして今後も検討していきます。	イ
94	【相模原 IC 周辺の有効利用】 圏央道の狭山 PA から厚木 PA は 60 km ほどあり、外回り内回りともに休日とはくに渋滞に巻き込まれることが多い。 相模原 IC 辺りに PA があれば便利だと思う。 道の駅のような相模原の名産品（農作物、卵、高座豚など）を取り扱うお店があれば市のアピールにもなる。 相模湖方面へキャンプに訪れる人の利用価値もあるため、八王子 JCT を経由して中央道を利用していた人が相模原 IC から下道を通れば周辺地域の活性化も見込まれるのではないかと。八王子 JCT の渋滞緩和にも繋がるだろう。 そのような施設にキャンプサイトを作り、災害時には市民の避難所になるよう防災公園の機能も兼ねていたら市民としては安心です。小中学生には遠足等で是非訪れて欲しい。 圏央道が開通して都心からのアクセスが良くなったので、自然豊かな相模原へ県外の方	【相模原 IC 周辺の有効利用】 重点テーマ 3 「中山間地域対策事業」 中山間地域への道の駅の設置可能性調査検討事業(P17)	ア
		「アートラボはしもと」は、周辺にある美術大学などと連携し、そこで学ぶ美大生や卒業生、子どもたちや地域の方々、商店街や企業、学校、研究機関、市民グループなどと協力し合いながら、さまざまなアート事業を展開する“アートの活動拠点”として位置付けています。本施設の再整備に当たっては、アートラボはしもとが培った地域住民や地元商店街などとのネットワークを生かすとともに、	イ

	がもっとたくさん訪れて欲しいです。 【藤野地区】 アートラボ橋本は個人的に不要であると感じています。 なぜ橋本なのか？市民ロビー相模大野やユニコムプラザさがみはら、相模原駅の市民ギャラリーでは足りないのか？ アートの活動拠点であれば藤野地区が相応しいと思う。 美大生等がそのまま藤野地区に移住し芸術活動をしてくれたら、もっと素敵な街になるだろう。 「藤野ぐるっと陶器市」がもっと全国的に有名な陶器市になったら、たくさんの人が訪れるのではないかな。PR が足りないと思う。 【広大な土地の有効活用】 千葉の印西市は巨大データセンター、熊本の菊陽町は半導体の街になり好景気だそう。 「地盤が強く地震に強い」「津波の心配がない」「都心からのアクセスが良好」という理由等で好適地として選ばれたのであれば、リニアの開通により都心からのアクセスがさらによくなる相模原にもチャンスがあるのではないかな？ 緑区の広大な土地を有効に活躍し、相模原にもバブルを！	本市及びその周辺の美術系大学に近接し、美大生が多く活動し、住み、行き交う橋本駅の周辺地域として同場所に再整備することとしております。 また、藤野地区においては「藤野ぐるっと陶器市」をはじめとする文化芸術を生かした事業や催しを多く開催しており、本市の特色ある文化芸術事業として市内外に積極的に発信してまいります。 藤野ぐるっと陶器市につきましては、例年約3,000人の来場者があり盛況なイベントであるが、一方で駐車場や警備員確保が課題となっているため、実施団体と今後の取組方法を検討してまいります。 本市の企業誘致施策としては、STEP50 による製造業等の立地等に対する奨励金の交付や、ベンチャー・スタートアップ企業進出補助金等による支援など、多彩な支援メニューにより戦略的な企業誘致を推進しています。 今後も、製造業の集積、アクセス性、良好な地盤などの本市の強みや特性を生かした企業誘致に取り組んでまいります。	
95	相模大野駅を格とした南区地区にも投資を行い、なにより企業誘致をして法人税による財政再建を考えてほしい。	本市の企業誘致施策としては、STEP50 による製造業等の立地等に対する奨励金の交付や、ベンチャー・スタートアップ企業進出補助金等による	イ

		支援など、多彩な支援メニューにより戦略的な企業誘致を推進しています。 今後は、本市を取り巻く社会経済情勢の変化を踏まえ、これまでの工場の立地に限らず、オフィスや研究所などの業務機能の誘致も重要であると考えており、リニア駅周辺のまちづくりをはじめ、新たなまちづくりと連動した多種多様な企業の誘致に向けた制度の見直しを検討してまいります。	
96	橋本駅北口のペDESTリアンデッキの活用をして、人が集まる魅力的な街作りをしたら良いと思う。例えば、土日朝に産地直送のお野菜などを売るマルシェや、屋外にテーブルと椅子、パラソルを置いて市民がコーヒーを飲んだりしてくつろげる憩いの場所になると良い。	緑区におきましては、地域と連携・協働して、地域の魅力を高めるようなまちづくりを進めていくよう引き続き取り組んでまいります。	イ
97	工場、倉庫と住宅が混在している地域が多く、大型車両が通行して危険なエリアもあるため、道路拡張、歩道整備などを進める必要があると考える。	・道路改良事業（P57）	ア
98	相模原市緑区を自然体験とウェルビーイングの拠点として認知させる。 住民の健康を向上させるとともに、医療費の削減という経済的メリットももたらす可能性があります。 以下に、まちづくり・活力分野における具体的な意見をまとめてみました。 自然体験とウェルビーイングの拠点としてのまちづくり提案 リトリートセンターの設立： 相模原市緑区の豊かな自然環境を活用したリトリートセンターを設立します（空き家を活用）。このセンターは、ストレス緩和、心身の健康増進を目的とした各種プログラムを提	本市は、都心から約1時間で豊かな自然に触れることができるため、アウトドアや体験型コンテンツの磨き上げに取り組んでいます。いただきましたご意見を、今後の参考にさせていただきます。 高齢者の主体的な取組に向けた活動支援を実施しており、地域の高齢者の介護予防活動に対する補助制度（シニアサポート活動、生き活シニアのための活動補助金事業）や、地域活動の担い手の育成等の支援（介護予防サポータ	イ

	供し、国内外からの訪問者にリフレッシュの場を提供します。 予防医療のプログラムの充実： ウェルネス活動として、ヨガ、瞑想、ハイキングなどのプログラムを定期的に開催し、参加者の身体的、精神的健康を促進します。これらのプログラムは地元医療機関と連携して設計し、予防医療としての効果を高めることを目指します。 エコフレンドリーな観光施策の推進： 環境に配慮した観光施策を展開し、エコツーリズムを推進します。地域の生態系を保護しつつ、訪問者に自然との接触を通じた教育的な体験を提供します。 高齢者が主役の自然体験プログラムの導入：地域の高齢者がデザインした自然体験プログラムを提供し、高齢者のフレイル予防として活用します。これにより、高齢者の健康維持と社会参加を促進し、健康寿命の延伸を図ります。 地域との連携強化： 地元企業、NPO、教育機関との協力を深め、地域全体での健康増進と地域活性化の取り組みを統合し 国際的なマーケティング戦略の展開：国内外のマーケットを対象に、相模原市緑区の自然とウェルビーングリゾートとしての魅力を積極的にプロモーションします。特に、海外からの訪問者を引きつけるために、多言語に対応した情報提供とアクセスの向上を図ります。 以上が、相模原市緑区をウェルビーングの中心地として発展させるための具体的な戦略となります。 この取り組みは、地域住民の健康増進に寄与し、医療費の削減、地域経済の活性化にも繋がると考えられます。	事業）を行っております。 健康づくり事業の企画の際に参考とさせていただきます。 緑区の自然を活かし、地域の魅力や愛着をさらに高めるような取組や情報発信の在り方について引き続き検討してまいります。いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。	
99	自転車を利用している（ママチャリの通勤通学からスポーツバイクまで）人が多いが歩	・道路改良事業（P57）	ア

	道がないところ、一本通行のところも多く車に乗る側としても、自転車に乗る側としても危険と感じる。 16号線は淵野辺以東に自転車レーンがなく、急に歩道が狭くなるのが気になります。	※国道16号の管理者である国土交通省 相武国道事務所に意見を伝えさせていただきます。	
100	住みやすさに特化したようなことはやめていただきたい。具体的に言うと JR 相模原駅北口の開発は神奈川 No. 1 のフットボールスタジアムで、五輪代表が試合を開催できる規模のものを民間主導で建設して誇りを持てるようにしていただきたい。	プロスポーツの迫力を身近に体験できる環境はスポーツ文化の振興のための重要なインフラと考えています。本市は、4つのフットボールチームをホームタウンチームとして認定しており、いずれのチームも相模原ギオンスタジアムをホームスタジアムとしています。そのギオンスタジアムでは陸上競技の著名な大会も開催されますが、開催候補日に空きがないこともあります。こうしたことから、スタジアム整備については、スポーツ振興の在り方のひとつとして今後も検討していきます。	イ
101	都内や横浜への通勤がなんとかできる範囲で家賃が安いエリアとして選ばれており、自然への魅力を感じて実住層は転入していない。	貴重なご意見ありがとうございます。今後のシティプロモーション事業等の参考にさせていただきます。	イ
102	観光地として津久井方面の魅力がなさすぎる。例えば、るるぶ等みても見どころがないのか掲載がない。車で行くしかなく不便な場所にあるため。また、津久井で検索すると事件のイメージがあり、ファミリー層に受けが悪い気がするため。	本市の津久井地域には、キャンプ場やレジャー・温泉施設、体験型コンテンツの提供など多くの観光スポットがあります。本市の魅力をより多くの方に知っていただくため、効果的な情報発信に努めていきます。 津久井地域の魅力を高めるような取組や情報発信の在り方について引き続き検討してまいります。	イ
103	JAXA が相模原にあり無料で中を見られるに	本市には、JAXA相模原	イ

	もかかわらず、つくば市の方が観光地として有名であり、あまりアピールできていない。駅からもアクセスが悪いのとあまり魅力的なツアーができていないと思う。	キャンパスをはじめ、キャンプ場やレジャー・温泉施設、体験型コンテンツの提供など多くの観光スポットがあります。本市の魅力をより多くの方に知っていただくため、効果的な情報発信に努めていきます。 また、本市の観光振興を図る上で、駅から目的地までの移動手段である、いわゆる「二次交通」が課題と認識しています。いただいたご意見を、今後の参考にさせていただきます。	
104	混雑を生むような観光地としての発展はインフラに過度な負担をかけるので、住環境が悪化するおそれ。例えば、鬼怒川温泉ではバブルのとき巨大なホテルを建てたが、今は廃墟になっていて居住環境だけでなく観光イメージの悪化にもつながる。短期的には市の財政が潤うかもしれないが、長期的にはそうした施設の維持や解体費用を自治体が払う羽目になるなど。	本市では、都心から約1時間で来ることができることから、主に首都圏からの観光客や訪日外国人の誘客に向けて取組を進めています。いただいたご意見を、今後の参考にさせていただきます。	イ
105	自然と都市のベストミックスというのなら、もう少し駅に近い利便性のあるところで公園や緑地整備をし、なるべく徒歩か自転車で駅周辺にいけるように整備しその内容を魅力として発信するのが良いと思う。	快適で安全な生活を送るため、自然がもたらすやすらぎや心地良さを身近に感じられる生活環境をつくる必要があります。いただいたご意見はまちづくりに当たっての今後の参考とさせていただきます。	イ
106	相模原市は車社会に傾倒しすぎているので、歩道や自転車道がとにかく狭いのを改善してほしい。相模原駅直結のペDESTリアンデッキなど使いにくすぎる。上に登ったところで、立川駅や多摩センターのように商業施設にたくさんアクセスできるわけでもないし、雨をしのげる場所もない。また、国道16号沿いは自転車も徒歩も歩きにくい。	・道路改良事業（P57）	ア

107	NTT の作った電柱を中心にもっと規制強化するか無電柱化してほしい。その理由は、NTT のものはとても古く、他のものが風速40メートルまで耐えるものと異なり風速28メートル程度までしか絶えない設計になっているからだ。倒れると行動などがふさがるだけでなく、人や施設建物の損傷につながるので、経済的ではない。他の電柱も台風の風速が近年強まり強いもので55メートルなどになってきているので無電柱にしてほしいが、まずそうしたより危険な電柱に絞った対策が良いと思う。	本市では「相模原市無電柱化推進計画」において、優先整備路線を選定し、無電柱化を推進しておりますが、優先整備路線の選定にあたっては、個々の電柱の状態ではなく路線ごとに、防災性の向上、安全・快適な通行空間の確保、良好な景観形成の3つの観点で評価を行っております。今後も引き続き無電柱化を推進してまいります。	イ
108	礼節を重んじ、他者を思いやる心をもった学生を育て、学生と市民全員が夢と希望を持ち相模原の成長に協働していくために、「弓道場、弓道を学ぶ環境」の整備を提案します。 1) ポイントは ・相模原市で生まれ、居住し、学び、勤労し、高齢となった全ての市民が年齢に関係なく、武道の精神を学ぶことで、市への愛着及び共感を深めシビックプライドを醸成する。武道は心身の鍛錬を通じて人格を磨き、識見を高め、有為の人物を育成する。「礼に始まり礼に終わる」と言われ、礼節を重んじ、他者を思いやる心を学ぶ場である。是非、学生時代に学びたい。武道の中でも弓道は体力の消耗が少なく老若男女を問わずに参加できる特徴がある。弓道は精神修養とスポーツ性を融合しており、学生から高齢者までが弓道に参加できる環境整備は重要である。 ・高校生、大学生が文武両道と道徳規範を学び、市民協働を体得する。 ・ワーク・ライフ・バランスにおけるすべての市民のライフ環境を整備する。 ・中山間地域対策で創出した林業を活用した津久井産材を建設、維持管理、エネルギーに活用する。 ・2025 年に老朽化した市役所前体育館と併設する弓道場閉鎖の好機に文武両道の環境を整える。	弓道は、子どもから高齢者まで幅広い年齢の方が心身の鍛錬を図ることができ、礼節や思いやりなどの豊かな人間性を養うことができる生涯スポーツであることを認識しており、現在市内には相模原ギオンアリーナとほねごりアリーナに弓道場がございます。 新たな弓道場整備の具体的計画はございませんが、今後も、誰もが身近にスポーツに親しみ、関わることのできる環境整備に取り組んでまいります。	イ

	・弓道は国際的な関心が高く特に日中両国民が相互理解しうる文化的な資源。国際親善に貢献。 ２）場所の提案 学生や市民の利便性、都心から１時間の利便性、リニアモーターカー、新幹線の利便性を生かす場所 ・市役所前の体育館跡地 ・施策 23「橋本駅周辺地区の整備推進」「相模原駅周辺地区の整備推進」 ・アートラボはしもと 隣接/・横山公園 隣接/・淵野辺公園と JAXA 隣接 ３）建物とエネルギーは ・津久井産材を活用して建設する。再生可能エネルギーや木質バイオマスボイラーを活用する。 ・県立武道館と同じ構造とし、体育館とは異なり矢道上の屋根は不要。 ４）内容は ・神奈川県、各大学、実業団、地元の協会。他市の弓具店と協働で行う。 ・相模原市内の高校 23 校（県立高校 13）、相模原市内の大学 3 校（桜美林大学、青山学院大学、麻布大学）、相模原市弓道協会、相模原市スポーツ協会、実業団が協働で武道場の運営、維持、整備を行う。 ・相模原市役所職員の弓道経験者を募って相模原市役所実業団チームを結成し市民の模範を示す。さらに誘致した企業の福利厚生の一環として実業団チームの結成を促す、 ・見学・練習・講習会・大会は外国人を含めた市外、市内の多様な主体をターゲットにする。 ・弓具店が相模原市には無く、弓道具の知識を学ぶ環境に乏しい。他市の弓具店に出張指導を委託。 ５）交通手段 高校生、大学生、多様な主体をターゲットにコミュニティバスを配備する。学生の授業時間、部活時間も配慮する。 コミュニティ		
--	--	--	--

	ーバスを相模原市役所、相模大野駅、相模原駅、橋本駅、北体育館、南体育館、麻溝公園競技場、横山公園水泳競技場、新設弓道場、県立高校、相模原女子高で循環させる。 6) 効果 ・弓道は立禅でキーワードは「至誠」「礼節」「仁儀礼智」「真・善・美」「不動心」を学ぶ場。 ・心と体の健康を 10 代から 90 代の広い世代にわたる心技体の交流と心身鍛錬でめざす。 ・中国及び諸外国の人々に日本の武道の精神、技術を伝え、国際親善を推進する文化交流拠点になる 計画（案）の該当箇所と政策的基幹事業に与える効果を説明します。 ===== □ 分野横断的に取り組む重点テーマ 3_中山間地域対策 ・津久井産材を活用して建設する。再生可能エネルギーや木質バイオマスボイラーを活用する、 □ 政策 2 生涯にわたる豊かな学びの機会をつくれます ◆施策 3_学校教育の推進 ・中学、高校、大学生自らが共存共生社会を実現させ、未来を切り拓く力を育成 ◆施策 4_学校や地域における教育力の向上 ・幅広い年齢層の市民と学校が連携・協働し子ども、高校生、大学生の成長を支える取組を推進 ・全てのスポーツにおいて使用する道具を大切にする事は、道具の知識を学び、理解することから始まる。 相模原市には弓道具店が無く、学生が弓道具の知識を学ぶ環境に乏しい。他市の弓具店に出張指導を委託する。学生の弓道練習時間に弓道場に同席してもらい、弓道具の作り方、取り扱いの指導を頼む。	
--	---	--

	・相模原市役所職員の弓道経験者を募って相模原市役所実業団チームを結成し市民の模範を示す。 - さらに誘致した企業の福利厚生の一環として実業団チームの結成を促す、 ◆施策 5_生涯学習・社会教育の振興 ・弓道は生涯教育 ・学生から高齢者まで武道の精神、弓道の学びを通じた絆づくり・地域づくりの促進 □ 政策 4 健康で心豊かに暮らせる社会をつくれます ◆施策 10_ 健康づくりの推進 ・心と体の健康は 10 代から 90 代の世代を超えた、心技体の交流と心身鍛錬で成し遂げる ・子供達や学生は社会的・職業的経験を経た高齢者との協働で心身の成長の支援を受ける ◆施策 12_多文化共生の推進 ・国際交流事業として諸外国の人々に日本の武道の精神、技術を伝え、交流と国際親善を推進する □ 政策 9 活力と魅力あふれる都市をつくれます ◆施策 22_ 安心して移動できる地域交通の形成 ・高校授業や部活、大学部活の時間を考慮してコミュニティバスを相模原市役所、相模大野駅、相模原駅、橋本駅、北体育館、南体育館、麻溝公園競技場、横山公園水泳競技場、新設弓道場、県立高校、相模原女子高で循環させる。 ◆施策 23_首都圏南西部における広域交流拠点の形成 ・市民、県民、リニアモーターカーや新幹線利用者が移動しやすい場所を橋本駅周辺地区及び相模原駅周辺地区の整備推進計画の中で立案する □ 政策 10 日本の経済を牽引する多様な産業振興		
--	--	--	--

	◆施策 26 誰もが働きやすい環境の整備 ・ワークライフバランスの支援。心身の支援として多年齢層の間のコミュニケーションの場を提供 □ 政策 12 文化・スポーツに親しみ、活力と交流が生まれる環境をつくります ◆施策 31 スポーツの推進とスポーツを通じた活力あふれるまちづくりの実現 ・市民大会や市長杯や学生大会、実業団大会等の各種大会、講習会や審査会や弓具講習会を開催”		
109	「都市計画道路等整備事業」に関し、「県道 51 号(町田厚木)(南台 I 工区)」の早期整備を期待しています。現状、道路と歩道がいびつな形になっているので早く解消していただけるとありがたいです。	道路整備に必要な用地取得にあたり、一部取得困難となったため、歩道のつながりを確保する暫定整備をしました。現状においては、計画幅員までは完成していないものの、ある程度歩行者の通行は確保できていると考えていますが、用地取得ができた際には整備を行ってまいります。	イ

目指すまちの姿Ⅴ：環境分野

通番	意見の趣旨	「該当する取組」もしくは「市の考え方」	区分
110	相模原市には大手企業の工場が多数あるので、企業が排出するものに対しても何かしらの取り組みが必要だと思う。	市内の事業者から排出される廃棄物に対しては、「事業系ごみ減量化等促進事業」等により、廃棄物の適正排出・減量化にかかる啓発を実施しております。今後もより一層、事業系廃棄物の削減に向けた取り組みを進めてまいります。	イ
111	相模原市の山間地域は自然を身近に感じることができ、環境問題について考えてもらうことが出来る。施策 34 のように環境について知ってもらえるような事業や地元の企業と協力して SDGS の取り組みを行っている点が評価	・環境を守る担い手の育成事業（P73）	ア

	できる。より環境問題について考えてもらうために、引き続き小学校での環境学習や津久井産の木材を使った製品のPRを行ってもらいたい。		
112	リニア車両基地を建てるにあたって周辺地域の環境に問題がないのか。最小限に抑えることはしていると思うが、長い目線で見ても害がないのか明文化して欲しい。 津久井産材の木材はもっと変える機会があると良い。個人で買えるもののラインナップが少ないのが勿体無いです	リニア中央新幹線については、事業者である JR 東海にて、当該工事計画の認可申請に先立って、環境影響評価法に基づく手続きが行われ、当該事業の実施による環境への影響についての予測・評価が行われました。また、工事着手後には、「車両基地の建設」など、工区ごとに「環境保全計画書」を作成し、公表をするなどの取組が行われているものと承知しており、本市としても、同社の環境保全に向けた取組を注視してまいります。	ウ
113	ごみの戸別収集をしてほしい。できればロボットにやってほしい。ごみを出した人が責任を負う排出者責任を重んじるとともに、各地での自治会で管理し続けるのにも限界を感じる。例えば、高齢や認知症になり、ごみの集積所までごみを出しに行けない人が多くいて結果としてごみ屋敷となって、放火や火の不始末でよく火事の原因となっている。せっかくさがみ産業特区としてロボットのまちにするのであれば、ロボットにごみの戸別回収をしてもらうと良いと思っている。例えば日本橋ではUberEatsのランチなどの配送をもうロボットがやっているとのことなので、仕組みを整えたら相模原市でもできると思う。夫婦共働きや一人暮らし、高齢者の人及び外国語しか話せない人等多様な人がいるが、生活リズムが違って自治会業務をやるのは負担に感じる。ましてや少子高齢化で人口が減るので、どんな人でも安心して暮らせるように、そうした業務はロボットにやってほしい。不寛容な町ほど、住む場所として今後選ばれな	ごみ・資源の戸別収集については、ごみ出し負担の軽減、排出責任の明確化などの効果が期待される一方、収集作業員や収集車両の確保、収集時間の増大に伴い多額の経費が必要となるなど様々な課題がございます。 こうした課題を踏まえ、将来に渡って安定的な収集運搬体制を継続できるよう、本市に適したごみ収集のあり方を検討してまいります。 併せて、ロボット技術など新たなテクノロジーの動向についても注視してまいります。	イ

	いと思う。例えば、海老名市や大和市はもうごみは戸別収集されているし、東京都も戸別収集が増えており、若い夫婦に人気である。		
--	---	--	--

目指すまちの姿Ⅵ：協働・行政サービス分野

通番	意見の趣旨	「該当する取組」もしくは「市の考え方」	区分
114	失業手当の申請や国民年金の加入手続き、失業認定などがオンラインでスマートフォン・PCでワンストップで完結できるシステムを作って欲しいです。役所に行かなければならないのも手間だし、待ち時間が無駄でしかない。役所の方、ハローワークの方が全速力でやってくれているのは知っていますが、そもそも足を運ばなければならない仕組みが時代に合っていないと思います。マイナンバーカードを読み取って手続き完了、くらいの手軽さまで進めば理想的ですが、今すぐにそこまでは難しくともそういったオンラインで完結できるシステムがあれば孤立感も軽減されてよいのではないかと思います。	デジタル技術の活用により、行政サービスの利便性向上を図ることは、重要であると考えています。 オンライン申請等により、窓口へ行かなくても完結する手続きを拡充するなど、利便性向上に向けた取組を今後も検討していきます。	イ
115	市外から人を呼ぶためにはさらに地道で魅力的な広報活動が必要と考えます。	・シティプロモーション推進事業（P90）	ア
116	相模原市への誇りが増えるような施策をやってほしい。 都心へのアクセスもまあまあよく、自然にも近く、住み良いと思っています。 アレクサンドロスとのコラボレーションなど、印象に残ってる人も多いと思いますので、そのような攻めの広報も必要かと思っています。	・シティプロモーション推進事業（P90）	ア
117	ゆるきゃらのさがみんが可愛いので市のPRのために SNS 等でもっと活躍して欲しいです。	・シティプロモーション推進事業（P90）	ア
118	シティプロモーションの SNS 活用は素晴らしく、引き続き継続が必要と考えます。 1 番素晴らしいのは「愛がある」というところです。いわゆるお役所のイメージを覆し、役所というのはこんなにも愛をもって仕事をしてのだということを知り感動しています。 「相模原ってなんかいいよね」というイメージが広がり、市内外問わずシビックプライ	・シティプロモーション推進事業（P90）	ア

	ドが向上しつつあると思います。 市民のパワーだけでなく、市外民の関心が相模原市民の愛を深めて行けたら良いと思っています。		
119	多少良くなったのかもしれないが、3年前南区から中央区に転居した際、中央区役所にあるマイナンバーカード端末が少なく、アホほど待たされた。保険証機能が追加され使用する人も増えたら紛失や再発行をする人も増えると思う。もう少し何とかならないか。	各窓口状況に応じて、ＣＳ接続用統合端末を段階的に増設しております。	イ
120	中央区が花手水しかやってないように見える。それが地域の良さにつながるように思えず不満です。相模原で最も中心性の弱い地域かと思いますが、田名、上溝、淵野辺など、それぞれの地域に個性がある、地域を盛り上げようとしている団体がいるのに、行政側の発信が勿体無いと思う。 相模原市のシティープロモーションが不満です。まず Twitter の運用ですが、相模原市のことが知りたいのに、中の人個人の話をします。話し方のノリが寒い、また個人のアカウントにリプライするなどの行動に引いてしまいました。相模原の事を知りたくて見たのに、なんでアイドルマスターのライブ実況のツイートを見なければならないのかなと不快でした。 SNS を活用するのは、中心性の弱い相模原には合っていると思いますが、そのフォロワーの一体何人が相模原の人なののでしょうか。相模原市民が置いてけぼりになっていると思いますし、市民にとっての情報媒体として全く使えません。 このアンケートも去年から数十倍のアンケートが届いたと SNS で言っていましたが、増えた件数のうち一体何人が相模原市民なのだろうかと疑問です。関わりのない人に、面白半分 SNS を見ている人に、中の人と共通の趣味があるだけの人に、相模原市の未来に対しての意見を求めるのは、市民として声が届	博物館等と連携を行い、マンホールカードを貰いに来館した人へ展示も見ていただくようインスタグラムを中心とした広報媒体で促します。 情報発信ツールや内容について引き続き研究する。 津久井地域の強みを活かすとの御意見につきましては、自然を活かした取組や情報発信の在り方などについて引き続き検討してまいります。	イ

	かないと感じ悲しいです。 また、相模原と関係のないコンテンツとのコラボはやめて欲しいです。近隣が「聖地」としてコンテンツのコラボをしているのに対し、（聖蹟桜ヶ丘とシャニマスのように）そういった要素のないコラボレーションは「相模原には何もない」といっているようなものだと思います。アニメや漫画で盛り上げていきたいなら、行政をあげてコンテンツを作っていくなど本気で取り組んで欲しい（焼くならマグカップも、などが先行事例でしょうか） キャラクターが客寄せパンダになっているようにも思えて、キャラクターもまちも大切にしていないと思いました。 ガンダムマンホールも、近隣の稲城市や小田原市に比べるとプライオリティが低いと思います。また、ご当地マンホールは、博物館や記念館にもらうためだけに来て、館内を見ないで買える人をよく見かけるので、これも対策して欲しいです。 水源地としてのプロモーションをもっと頑張って欲しいと思います。以前、なんらかの調査で「富山県民は自分の県の水が美味しい」と思っている」という結果が出ており、これは、黒部ダムと知名度によるものではないかと思っています。日本で最も観光客数が多いダムは宮ヶ瀬ダムですが、知名度はそれほどではないという事なのかなと思い、観光地としてのダムの魅力が向上すれば、相模原市の抱える水源についての認識も向上するのではないかと個人的には思いました。相模ダムのリニューアルもありますし、今一度水源地としての魅力を訴えても良いと思います。 津久井商工会の行っていた天体観測イベントが定員足りず中止になっているのを昨年見ました。「宇宙を身近に感じられるまち」というコピーを今後も使っていくのなら、宇宙というテーマを旧相模原市だけの財産にするの	
--	--	--

	ではなく、自然の多い津久井地域の強みも活かしてみるのはいかがでしょうか。		
121	相模原市の喫緊の課題は、行政需要の増大に応じた財源の確保にあると思います。 政令都市、相模原市はその矜持から自らの知恵、勇気、才気から財源を稼ぎ出す開拓者精神及び実行が必須、急務と思います。 行政機関等匿名加工情報提供制度が開始され、相模原市でも、一昨年から政令都市としてこの制度が開始されております。 但し、制度開始から日が浅く、 ○ 相模原市民に周知されているとは言い難く、 ○ 加えて、相模原市行政区内で匿名加工がされず、専門業者に匿名加工が委託されております。 ○ そして、お宝である、ビッグデータ、匿名加工情報が、ただ同然の実費事務費だけで、一部の企業に提供されているのが実情です。 ○ 相模原市民のデータを、相模原市内の教育機関で、データ加工も含めたデータサイエンスを行い、新たなデータモデル若しくは新たなビジネスモデルにと、付加価値を付与する。 ○ 得られたデータモデル、ビジネスモデルを相模原市自らが周旋斡旋し、得られた対価を相模原市の財源に充てる。 このサイクルを一早く立ち上げる事が、DXに強い相模原の責務と存じます。 改めて見渡せば、相模原市はデータサイエンスの桃源郷です。地域のデータサイエンスに強い青山大学、相模原女子大。地球共生と冠した麻布大学。アートサイエンスに特化した女子美術大学。 未来工学部を創設した、北里大学。期せずして相模原市はデータサイエンスのシリコン	行政機関等匿名加工情報提供制度について、市民の認知度が低いという指摘があったことから、市ホームページなどによる市民周知の方法を工夫していきたい。また、匿名加工情報を作成できる事業者が非常に少ないため、新たな事業者の掘り起こしに力を入れていきたい。 ポイント還元キャンペーンなどのデジタルツールを用いた事業については、いただいたご意見を踏まえ検討してまいります。	イ

	バレーです。連携しない事は大きな損失です。 正直なところ、行政機関等匿名加工情報だけでは、横浜市、川崎市、千葉市など近隣指定都市のデータと差別化が図れず、検証データ止まりの価値しかないと思われます。 売れるデータモデル、ビジネスモデルは、地域のオリジナル活動のデータと組み合わせることで得られます。 幸い、相模原市はイベント性の強いキャンペーンが多く、これらイベントデータを行政保有データと組み合わせる事で、より高付加価値を有したデータモデル、ビジネスモデルが得られ、他の自治体、民間企業に訴求できます。 例えば、相模原市が共に実施している、「ポイント還元キャンペーン」と「相模原お店大賞」を受賞店でのポイント還元率をより高く設定する仕掛けで、地域内消費、経済循環の傾向がデータとして得られます。 同種のポイント還元キャンペーンを行っている、自治体に新たなビジネスモデルとして提供でき、コンサルタントとして口銭が稼げます。お店大賞編、相模大野もんじえ祭り編とバージョンアップも望めます。 以上、構想を机上で申し上げる事は易しく、実行は困難と存じますが、一步を踏み出す勇氣は、政令都市、相模原市の矜持と信じます。		
--	--	--	--